

多摩地域の温室効果ガス排出量 (1990 年度～2017 年度)

2020 年 3 月

オール東京 62 市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

本報告書における注意点について

① 市町村が独自に算定している温室効果ガス排出量との関係について

温室効果ガス排出量の現況推計のための統一された算定方法はなく、国の「地球温暖化対策地方公共団体実行計画策定マニュアル」でも算定方法の例示に留まっているため、従前から現況推計を行っている市町村の算定方法は独自のものとなっている。

このため、本算定手法で算出した排出量と市町村が独自に算定している排出量はいずれも推計値であり、数値は異なる。

② カーボン・オフセット等の施策の成果について

本報告書は、各市町村の地球温暖化防止に係る計画策定や施策に役立ててもらうために、温室効果ガス排出量の現況の基礎データを提供するものである。したがって、カーボン・オフセット等による各市町村の施策の成果等は計上していない。

③ 三ふっ化窒素の追加について

2013年度より三ふっ化窒素を算定対象として追加することとした。三ふっ化窒素は地球温暖化係数が17,200と非常に大きく（二酸化炭素：1、メタン：25、一酸化二窒素：298）、京都議定書の第二約束期間で新たに追加された対象ガス種である。

④ 基準年度について

本報告書でいう基準年度は、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素については1990年度、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、及び六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素については1995年度を指す。

⑤ 四捨五入の関係について

本報告書において、各市町村それぞれの温室効果ガス排出量を合計した値と、「多摩地域の温室効果ガス排出量」は四捨五入の関係で異なることがある。また、温室効果ガス排出量の推移における各年度の合計も四捨五入の関係で異なることがある。

⑥ 横田飛行場（横田基地）の取り扱いについて

福生市の温室効果ガス排出量については、横田飛行場（横田基地）の排出量が全て含まれていることから標準算定手法による推計では数値に誤差が生じてしまうため、民生家庭部門は福生市の人口と基地内人口、民生業務部門は福生市の行政面積と基地内の業務面積を用いた福生市が独自に実施している補正を加え算定した値を参考値として併記した。

⑦ 羽村市、瑞穂町、檜原村における製造業と民生業務部門の電力消費量の取り扱い

羽村市、瑞穂町、檜原村における製造業と民生業務部門の電力消費量の取り扱いについては、標準算定手法による推計では羽村市、瑞穂町、檜原村の電力供給量の数値と誤差が生じてしまうため、補正を加え算定した。

用語・単位について

二酸化炭素排出係数

燃料1単位（例えばガスの場合1 m³）の燃焼に伴う二酸化炭素（CO₂）排出量を表す。なお、電気の二酸化炭素排出係数は、1 kWh の供給に必要な燃料の燃焼に伴う二酸化炭素排出量を意味することが一般的で、単位は kg-CO₂/kWh となる。

記載箇所) III-2 電力の二酸化炭素排出係数に関する要因

地球温暖化係数（Global Warming Potential : GWP）

二酸化炭素と比べて、他の温室効果ガスがどれだけ（何倍）温暖化に影響を与える能力があるかを示す数字である。例えば、メタン（CH₄）のそれは25とされており、これは二酸化炭素の25倍程度の温暖化する能力があることを意味する。

記載箇所) 本報告書における注意点について 主な温室効果ガスの種類について

t-CO₂ / t-CO₂eq

t-CO₂は、二酸化炭素1トンという意味する単位で、「トン CO₂」と呼ぶ。また、t-CO₂eq は、各種の温室効果ガスの排出量に地球温暖化係数を乗じて t-CO₂相当量に換算した値に付される単位であり、「トン CO₂イクイヴァalent (equivalent)」または「トン CO₂イーキュー」と呼ぶ。

TJ

10¹² J（ジュール）を意味する単位で、「テラ・ジュール」と呼ぶ。

主な温室効果ガスの種類について

二酸化炭素 (CO₂)

代表的な温室効果ガスであり、我が国の温室効果ガス排出量全体の90%以上を占めている。化石燃料の燃焼などが排出源となっている。

メタン (CH₄)

天然ガスの主成分である。常温では気体で、よく燃える性質を持っている。稲作の水田、家畜の腸内発酵、廃棄物の埋め立てなどが排出源となっている。地球温暖化係数は25である。

一酸化二窒素 (N₂O)

数ある窒素酸化物の中で最も安定した物質で、他の窒素酸化物（例えば二酸化窒素）などのような害はない。燃料の燃焼、工業プロセスなどが排出源となっている。地球温暖化係数は298である。

ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)

塩素を有しないためオゾン層を破壊しない一方、強力な温室効果を有するフロンガスである。スプレー、エアコンや冷蔵庫などの冷媒、化学物質の製造プロセスなどが主な排出源となっている。例えば、代表的な HFCs の1つである HFC-134a の地球温暖化係数は1,430である。

パーフルオロカーボン類 (PFCs)

炭素とフッ素だけからなるフロンで、強力な温室効果を有する。半導体の製造プロセスなどが排出源となっている。例えば、代表的な PFCs の1つである PFC-14の地球温暖化係数は7,390である。

六ふっ化硫黄 (SF₆)

硫黄の六フッ化物で、強力な温室効果を有する。電気の絶縁体などが排出源となっている。地球温暖化係数は22,800である。

三ふっ化窒素 (NF₃)

窒素とフッ素からなる無機化合物で、強力な温室効果を有する。半導体の製造プロセスなどが排出源となっている。地球温暖化係数は17,200である。

出典1) 全国地球温暖化防止活動推進センターホームページ「温室効果ガスの特徴」

http://www.jccca.org/chart/chart01_02.html (最終アクセス日：2020年3月9日)

出典2) 環境省「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン」(2017年3月)

表-1 施行令第4条に定める地球温暖化係数一覧

本報告書で掲載しているデータの紹介と考察のポイント

掲載しているデータ

I 多摩地域の温室効果ガス排出量の推移

1. 多摩地域の温室効果ガス排出量の推移

表 I-1 多摩地域における温室効果ガス排出量の推移

(単位: 1000t-CO₂eq)

ガス種	1990	1995	2000	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
二酸化炭素 (CO ₂)	13,091	13,381	14,476	14,910	14,900	15,969	16,937	15,484	16,260	14,230	15,865	15,398	14,620	14,818	15,297	14,388	14,248	15,428	14,291	14,400
メタン (CH ₄)	44	44	39	32	32	32	32	30	29	29	29	27	26	25	23	20	20	20	20	20
一酸化二窒素 (N ₂ O)	154	164	165	164	164	138	131	123	122	114	111	88	75	72	68	64	60	64	64	65
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	64	64	135	142	155	160	162	150	134	324	383	434	472	513	574	762	854	850	1,022	1,164
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	222	222	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	36	36	18	21	12	11	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	13,479	13,729	15,054	15,280	14,973	16,342	17,300	15,813	16,873	14,544	16,448	15,800	15,201	15,964	15,824	14,713	14,427	15,702	14,404	14,714

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。
 (注) ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類及び六ふっ化硫黄については1995年度から、三ふっ化窒素については2013年度から算定している。

各自治体における温室効果ガス排出量の推移を示しています。温室効果ガスは下記の7種類を掲載しています。

- 二酸化炭素 (CO₂)
- メタン (CH₄)
- 一酸化二窒素 (N₂O)
- ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)
- パーフルオロカーボン類 (PFCs)
- 六ふっ化硫黄 (SF₆)
- 三ふっ化窒素 (NF₃)

表 I-2 多摩地域における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位: 1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
廃棄物	46	83	84	77	89	86	86	86	87	87	86	81	82	82	85	84	72	72	72
鉄道	507	549	574	572	567	567	567	571	571	568	568	565	564	570	554	557	570	570	567
自動車	2,079	2,611	3,054	3,020	3,230	3,652	3,769	3,901	3,771	3,550	3,418	3,486	3,648	3,770	3,799	3,676	3,410	3,328	3,434
業務	2,422	2,481	2,259	1,990	2,311	2,260	2,216	2,296	2,220	2,221	1,940	1,794	1,921	2,059	2,176	2,188	2,062	2,090	1,772
家庭	3,281	4,070	4,162	4,112	4,844	5,088	4,604	4,624	4,371	5,192	4,961	5,000	5,406	5,691	5,943	5,586	5,265	5,190	5,263
製造業	2,280	2,395	3,323	3,603	4,208	4,786	4,332	4,110	3,788	4,732	4,777	4,248	4,173	4,384	4,824	4,884	4,583	4,420	4,414
建設業	6,577	7,460	7,483	7,714	8,046	8,845	8,585	8,910	8,488	9,724	9,120	9,223	9,827	10,821	10,827	10,178	9,690	9,604	9,789
自給業	3,420	4,014	4,233	4,203	4,264	4,181	4,003	3,542	3,414	3,212	3,123	2,918	2,783	2,658	2,553	2,542	2,426	2,272	2,221
鉄道	210	231	214	205	206	206	248	242	218	269	259	238	232	272	313	316	299	291	278
自動車	3,630	4,245	4,449	4,410	4,613	4,479	4,251	3,781	3,691	3,541	3,382	3,310	3,150	3,056	2,971	2,869	2,846	2,718	2,650
業務	254	285	309	370	390	354	342	361	323	324	337	334	330	325	340	344	341	331	340
製造業	12,081	14,476	14,910	14,900	15,969	16,937	15,484	16,260	14,230	15,865	15,398	14,620	14,818	15,297	14,388	14,248	15,428	14,291	14,400
合計	12,081	14,476	14,910	14,900	15,969	16,937	15,484	16,260	14,230	15,865	15,398	14,620	14,818	15,297	14,388	14,248	15,428	14,291	14,400

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

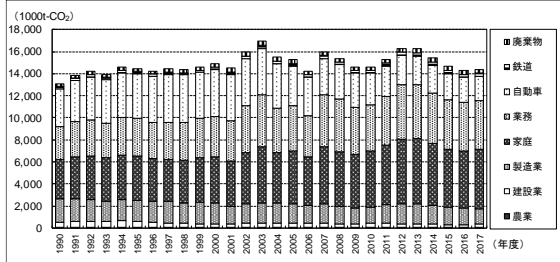


図 I-1 多摩地域における部門別二酸化炭素排出量の推移

(注) 二酸化炭素は温室効果ガス排出量の中で大半を占めるため、二酸化炭素排出量についての推移を掲載している。

温室効果ガス7種のうち、排出量の大部分を占める二酸化炭素 (CO₂) の排出量の推移を下記の部門別に掲載しています。

- 産業部門 (農業、建設業、製造業)
- 民生部門 (家庭、業務)
- 運輸部門 (自動車、鉄道)
- 廃棄物部門 (一般廃棄物)

考察のポイント

- 1990年度～2017年度の温室効果ガス排出量の推移について確認しましょう。
- 近年 (3～5年程度) の温室効果ガス排出量が増加しているのか減少しているのかを確認しましょう。
- 1990年度～2017年度の中で、二酸化炭素排出量が増加している部門と減少している部門を確認し、域内で起こったエネルギー消費量に影響を与えそうな出来事を振り返ってみましょう。
- 自治体が掲げている削減目標等と照らし合わせてみましょう。
- 上記に記載しているポイント以外にも様々な視点で考察してみましょう。

データの注意点

- 2003年度に二酸化炭素排出量が大きく増加しているのは「東京電力の検査・点検等の不正問題に起因する原子力発電所の稼働率低下」の影響によります。
- 2011年度以降は「東日本大震災以降の原子力発電所の停止」に伴う電気の CO₂排出係数の増加により、2011年度以前と比べると二酸化炭素排出量は多くなる傾向があります。
- 結果には推計誤差が含まれているため、二酸化炭素排出量の変化を説明できる要因が特定できない場合があります。

目 次

I 多摩地域の温室効果ガス排出量の推移	1
1. 多摩地域の温室効果ガス排出量の推移.....	1
2. 八王子市の温室効果ガス排出量の推移.....	2
3. 立川市の温室効果ガス排出量の推移.....	3
4. 武蔵野市の温室効果ガス排出量の推移.....	4
5. 三鷹市の温室効果ガス排出量の推移.....	5
6. 青梅市の温室効果ガス排出量の推移.....	6
7. 府中市の温室効果ガス排出量の推移.....	7
8. 昭島市の温室効果ガス排出量の推移.....	8
9. 調布市の温室効果ガス排出量の推移.....	9
10. 町田市の温室効果ガス排出量の推移.....	10
11. 小金井市の温室効果ガス排出量の推移.....	11
12. 小平市の温室効果ガス排出量の推移.....	12
13. 日野市の温室効果ガス排出量の推移.....	13
14. 東村山市の温室効果ガス排出量の推移.....	14
15. 国分寺市の温室効果ガス排出量の推移.....	15
16. 国立市の温室効果ガス排出量の推移.....	16
17. 福生市の温室効果ガス排出量の推移.....	17
18. 狛江市の温室効果ガス排出量の推移.....	18
19. 東大和市の温室効果ガス排出量の推移.....	19
20. 清瀬市の温室効果ガス排出量の推移.....	20
21. 東久留米市の温室効果ガス排出量の推移.....	21
22. 武蔵村山市の温室効果ガス排出量の推移.....	22
23. 多摩市の温室効果ガス排出量の推移.....	23
24. 稲城市の温室効果ガス排出量の推移.....	24
25. 羽村市の温室効果ガス排出量の推移.....	25
26. あきる野市の温室効果ガス排出量の推移.....	26
27. 西東京市の温室効果ガス排出量の推移.....	27
28. 瑞穂町の温室効果ガス排出量の推移.....	28
29. 日の出町の温室効果ガス排出量の推移.....	29
30. 檜原村の温室効果ガス排出量の推移.....	30
31. 奥多摩町の温室効果ガス排出量の推移.....	31
II 吸収量	32

III 多摩地域の温室効果ガス排出量増減に関する考察	33
1. 多摩地域の温室効果ガス排出量の全体の傾向	33
2. 電力の二酸化炭素排出係数に関する要因	34
3. 民生家庭部門における世帯数の影響	35
4. 民生業務部門における延床面積の影響	36

I 多摩地域の温室効果ガス排出量の推移

1. 多摩地域の温室効果ガス排出量の推移

表 I-1 多摩地域における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	13,091	13,091	14,476	14,910	14,500	15,969	16,937	15,494	15,260	14,258	15,985	15,398	14,620	14,618	15,297	16,308	16,246	15,428	14,650	14,291	14,400
メタン (CH ₄)	44	44	39	32	32	32	32	29	30	29	29	29	27	26	25	25	30	30	26	26	26
一酸化二窒素 (N ₂ O)	156	156	163	155	150	143	138	131	128	127	122	114	111	86	75	73	68	64	65	64	65
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	64		64	135	143	155	160	153	150	126	328	383	439	472	513	576	762	854	936	1,022	1,164
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	223		223	38	28	30	26	0	1	0	0	0	0	0	30	29	28	32	31	37	44
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	90		90	18	21	12	11	4	4	6	5	6	5	5	15	15	10	9	9	10	10
三ふっ化窒素 (NF ₃)	9																8	5	5	5	5
合計	13,678	13,291	15,054	15,288	14,873	16,342	17,304	15,813	15,572	14,547	16,469	15,930	15,201	15,207	15,954	17,026	17,151	16,421	15,722	15,454	15,714

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

(注) ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類及び六ふっ化硫黄については1995年度から、三ふっ化窒素については2013年度から算定している。

表 I-2 多摩地域における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	48	83	84	77	89	89	86	86	86	87	87	86	81	82	82	83	82	72	72	72
建設業	501	547	320	313	383	342	367	354	371	373	308	298	352	364	316	324	301	219	205	267
製造業	2,073	1,851	1,864	1,608	1,738	1,830	1,862	1,765	1,593	1,771	1,550	1,410	1,498	1,649	1,778	1,779	1,679	1,615	1,520	1,434
産業部門	2,622	2,481	2,269	1,998	2,211	2,260	2,316	2,206	2,050	2,231	1,945	1,794	1,931	2,095	2,176	2,186	2,063	1,906	1,796	1,772
家庭	3,597	4,070	4,162	4,113	4,649	5,090	4,559	4,800	4,375	5,152	4,957	4,871	5,060	5,456	5,897	5,943	5,586	5,265	5,190	5,365
業務	2,980	3,395	3,721	3,603	4,206	4,756	4,027	4,110	3,788	4,733	4,777	4,249	4,173	4,364	4,924	4,884	4,593	4,430	4,414	4,424
民生部門	6,577	7,465	7,883	7,716	8,856	9,846	8,585	8,910	8,164	9,885	9,734	9,120	9,233	9,821	10,821	10,827	10,179	9,695	9,604	9,789
自動車	3,428	4,014	4,235	4,205	4,264	4,181	4,003	3,542	3,474	3,272	3,123	3,132	2,919	2,783	2,659	2,553	2,547	2,426	2,272	2,227
鉄道	210	231	214	205	250	298	248	242	218	269	259	238	232	272	313	316	299	291	278	273
運輸部門	3,638	4,245	4,449	4,410	4,513	4,479	4,251	3,783	3,691	3,541	3,382	3,370	3,150	3,056	2,971	2,869	2,846	2,718	2,550	2,500
廃棄物部門	254	285	309	375	390	354	342	361	353	329	337	336	305	325	340	364	341	331	340	339
合計	13,091	14,476	14,910	14,500	15,969	16,937	15,494	15,260	14,258	15,985	15,398	14,620	14,618	15,297	16,308	16,246	15,428	14,650	14,291	14,400

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

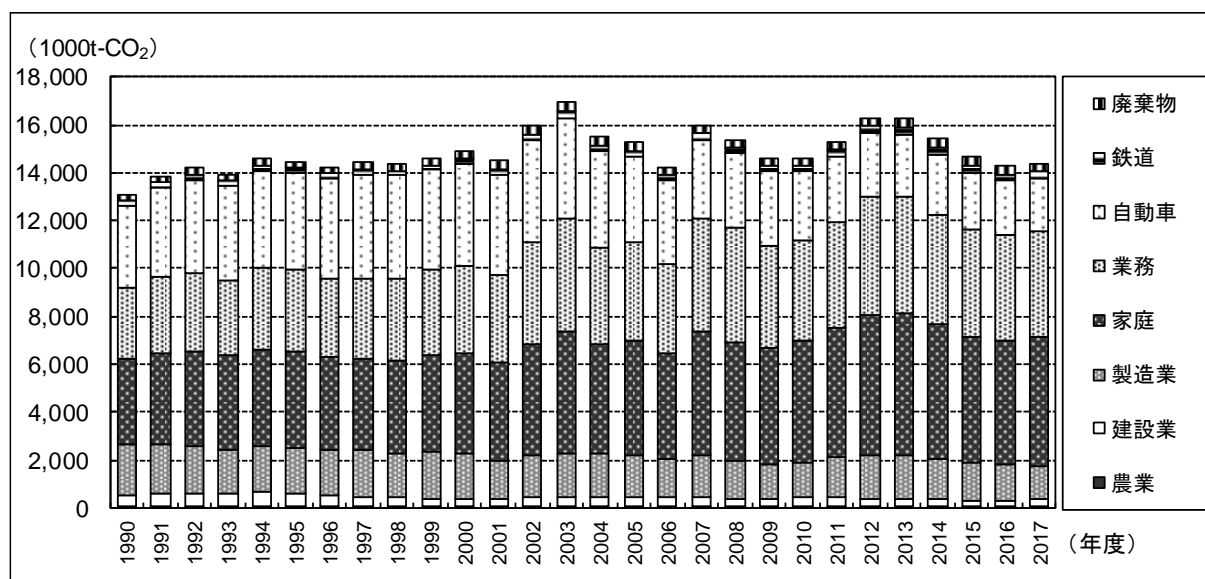


図 I-1 多摩地域における部門別二酸化炭素排出量の推移

注) 二酸化炭素は温室効果ガス排出量の中で大半を占めるため、二酸化炭素排出量についての推移を掲載している。

2. 八王子市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-3 八王子市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	1,803	1,803	2,091	2,152	2,141	2,353	2,506	2,277	2,190	2,066	2,309	2,217	2,094	2,148	2,247	2,397	2,389	2,281	2,165	2,132	2,153
メタン (CH ₄)	8	8	7	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	5	5	5
一酸化二窒素 (N ₂ O)	23	23	24	23	22	22	20	19	19	18	18	17	16	14	12	12	11	10	11	12	12
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	10		10	20	21	23	23	22	22	19	50	59	67	71	79	89	116	131	143	155	176
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	44		44	6	6	6	5	0	0	0	0	0	0	0	9	8	3	3	3	3	3
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	16		16	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	3	3	1	1	1	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	2																3	1	1	1	1
合計	1,905	1,833	2,192	2,210	2,200	2,411	2,562	2,325	2,237	2,109	2,382	2,300	2,183	2,238	2,355	2,514	2,528	2,434	2,329	2,309	2,351

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-4 八王子市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	7	11	11	10	12	12	11	11	11	12	11	11	10	11	11	11	11	10	10	10
建設業	81	91	35	39	63	49	51	55	60	80	47	40	46	48	40	46	31	30	32	30
製造業	207	191	185	160	197	188	169	166	159	187	145	138	137	152	168	162	156	156	151	148
産業部門	295	294	231	209	271	248	232	233	230	278	203	189	194	211	219	219	198	196	192	187
家庭	464	546	568	564	632	703	623	662	605	707	681	673	698	752	814	826	776	725	710	736
業務	394	482	553	534	622	748	663	649	596	714	736	647	643	678	760	758	725	676	662	668
民生部門	858	1,029	1,121	1,098	1,254	1,451	1,286	1,311	1,200	1,421	1,417	1,321	1,341	1,430	1,574	1,584	1,501	1,401	1,372	1,404
自動車	596	698	735	730	737	720	689	579	568	535	516	510	544	532	523	505	500	492	496	486
鉄道	22	24	23	22	27	33	28	27	24	30	29	26	26	30	36	37	35	34	32	31
運輸部門	618	722	759	752	765	753	716	606	592	565	545	537	570	563	559	542	535	526	528	517
廃棄物部門	33	47	41	82	64	54	43	40	43	44	52	47	43	43	44	44	48	43	40	45
合計	1,803	2,091	2,152	2,141	2,353	2,506	2,277	2,190	2,066	2,309	2,217	2,094	2,148	2,247	2,397	2,389	2,281	2,165	2,132	2,153

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

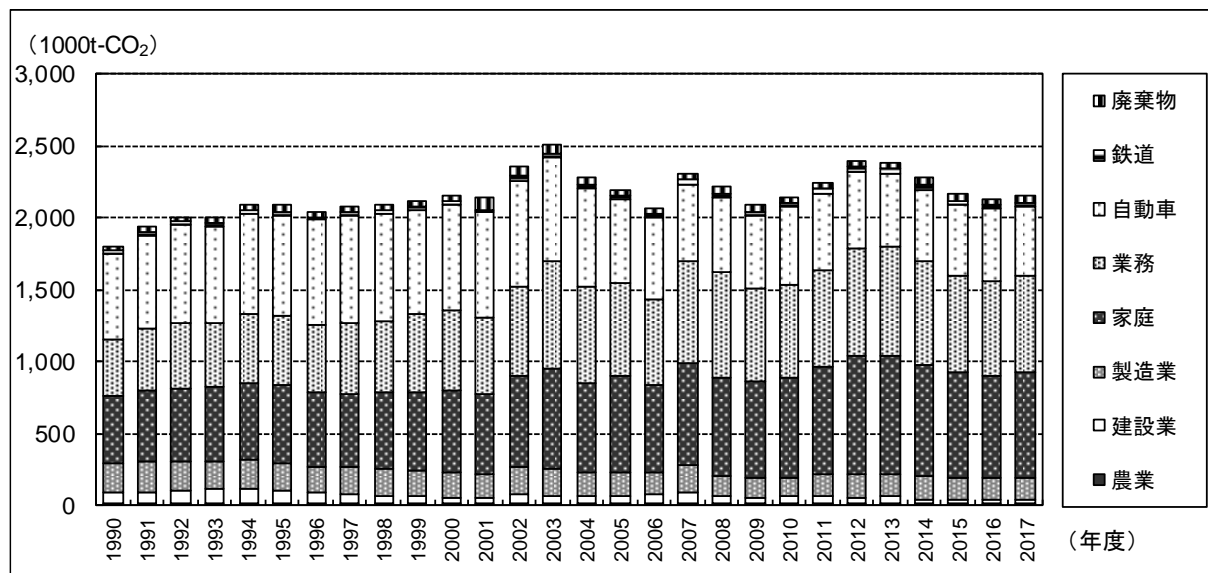


図 I-2 八王子市における部門別二酸化炭素排出量の推移

3. 立川市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-5 立川市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	581	581	643	656	650	733	787	716	699	644	761	731	693	686	718	788	790	746	704	692	701
メタン (CH ₄)	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	6	6	7	7	6	6	6	6	6	6	5	5	5	4	3	3	3	3	3	3	3
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	3		3	7	7	8	8	8	7	6	18	21	25	27	30	33	44	50	55	61	68
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	1		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																	0	0	0	0
合計	593	589	655	671	665	748	803	731	714	657	786	759	724	718	753	826	839	801	764	758	773

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-6 立川市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
建設業	25	25	16	13	24	18	20	21	15	22	15	9	16	13	20	20	27	14	9	9
製造業	70	46	43	25	25	23	21	18	20	23	22	20	20	24	24	25	25	26	27	28
産業部門	97	75	62	41	53	44	44	43	37	48	40	32	39	39	47	48	55	43	39	41
家庭	153	172	178	175	200	220	199	205	187	225	217	213	221	240	257	260	245	233	230	238
業務	183	224	240	251	295	338	298	291	264	337	330	303	303	318	365	366	332	320	323	323
民生部門	336	396	418	426	495	558	497	496	452	561	547	516	524	558	623	625	577	553	553	561
自動車	121	142	148	147	150	147	141	126	123	116	110	111	91	85	81	78	78	73	65	64
鉄道	13	15	17	16	20	24	20	20	18	22	21	20	19	23	26	26	25	25	24	23
運輸部門	135	157	165	164	169	171	161	146	141	138	132	131	111	108	107	104	103	97	89	88
廃棄物部門	13	15	11	19	16	14	15	15	14	14	13	13	12	12	12	13	12	11	10	12
合計	581	643	656	650	733	787	716	699	644	761	731	693	686	718	788	790	746	704	692	701

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

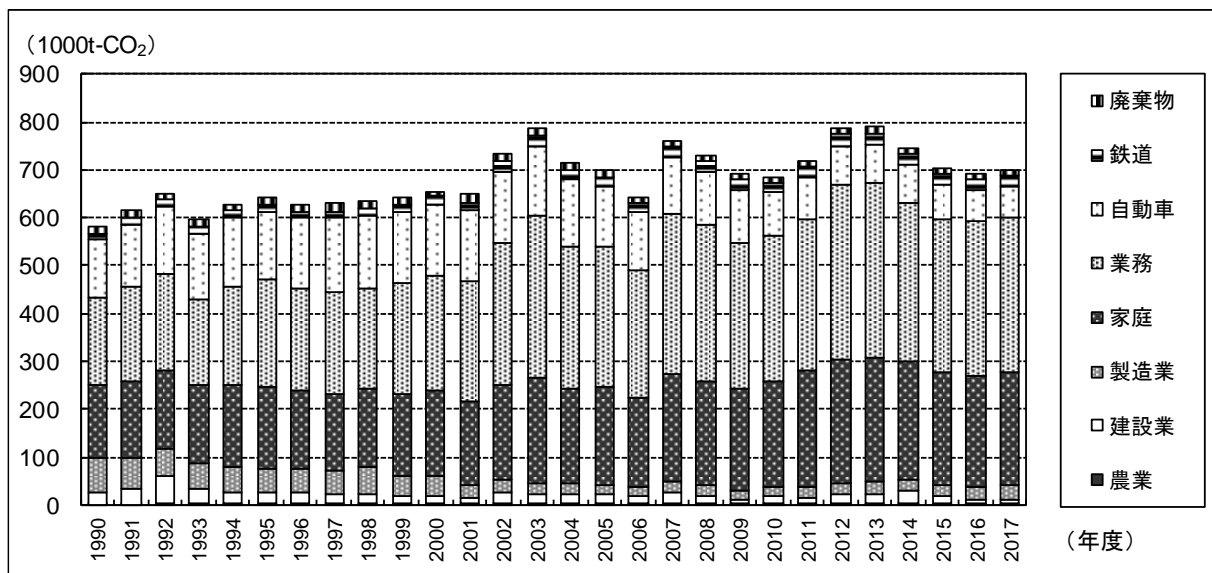


図 I-3 立川市における部門別二酸化炭素排出量の推移

4. 武蔵野市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-7 武蔵野市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	480	480	517	532	510	580	640	579	583	546	629	598	557	548	567	627	616	591	561	550	540
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	3		3	7	7	7	7	7	7	5	15	18	21	23	25	28	37	42	47	51	57
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	1		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																				
合計	489	485	526	544	523	592	653	590	594	556	648	620	581	574	595	658	656	636	611	603	600

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-8 武蔵野市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業	13	16	10	10	11	16	12	11	9	17	15	10	16	14	11	10	9	7	9	8
製造業	22	15	24	18	17	4	7	8	11	7	7	7	6	9	43	29	5	4	4	4
産業部門	35	31	34	29	28	21	20	19	20	25	23	18	23	24	54	39	14	12	13	12
家庭	155	171	174	166	193	211	191	200	192	211	202	196	202	218	237	232	220	212	210	215
業務	184	194	199	197	233	275	244	251	226	282	266	239	232	230	240	254	257	251	243	230
民生部門	339	365	373	362	425	485	435	451	418	494	468	435	434	448	477	486	477	463	453	445
自動車	70	82	84	84	85	84	80	73	72	67	64	65	55	52	49	46	46	44	37	36
鉄道	27	28	25	24	29	34	29	28	25	31	29	27	26	31	35	36	34	33	32	31
運輸部門	97	109	110	108	114	118	109	101	97	98	93	92	81	83	84	82	80	77	69	68
廃棄物部門	9	11	15	11	12	16	16	12	11	12	14	11	10	12	12	9	19	10	14	15
合計	480	517	532	510	580	640	579	583	546	629	598	557	548	567	627	616	591	561	550	540

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

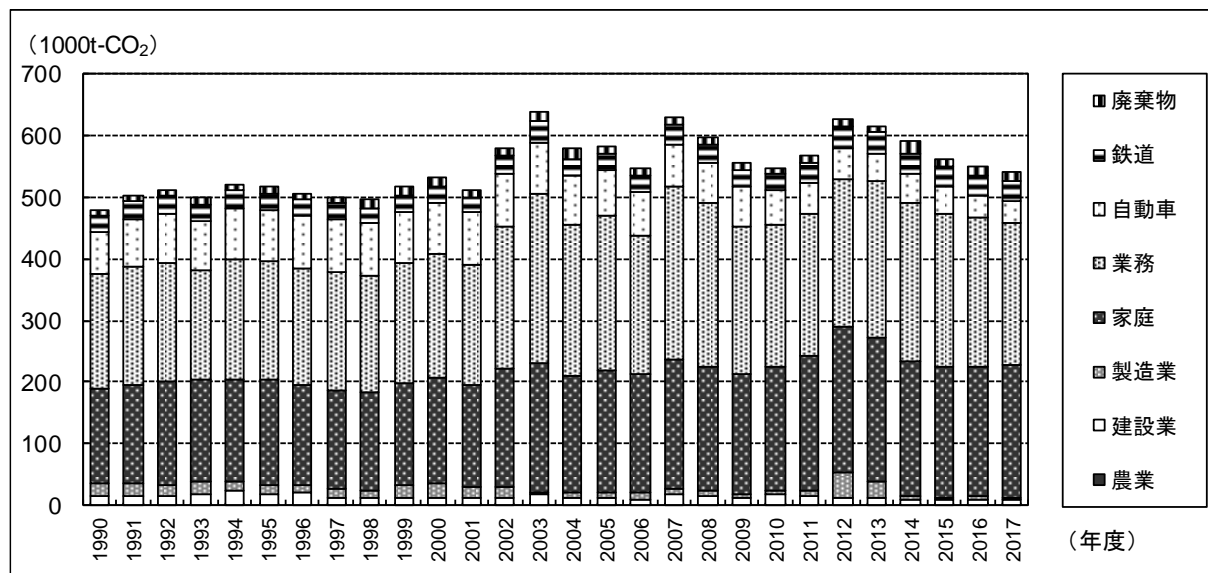


図 I-4 武蔵野市における部門別二酸化炭素排出量の推移

5. 三鷹市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-9 三鷹市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	515	515	564	581	571	623	677	620	616	575	622	600	577	567	605	652	651	627	596	584	594
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	6	6	7	6	6	6	6	5	5	5	5	5	4	3	3	3	2	2	2	2	2
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	2		2	6	6	7	7	7	6	5	13	15	17	19	20	23	30	34	36	40	45
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	3		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	2		2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																				
合計	529	523	579	595	585	637	691	633	629	587	641	621	600	591	629	678	685	664	636	628	643

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-10 三鷹市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
建設業	17	24	11	17	15	17	12	19	15	14	13	13	15	15	14	18	15	11	10	14
製造業	59	44	37	33	36	35	31	32	30	28	26	33	22	22	24	25	22	20	9	10
産業部門	78	71	50	52	53	55	46	53	48	45	42	49	39	39	40	46	40	33	21	26
家庭	164	185	195	191	218	241	219	232	209	244	234	228	237	255	276	272	256	244	242	251
業務	121	133	145	140	163	195	176	175	166	191	190	163	176	196	229	226	221	218	230	228
民生部門	285	318	340	330	381	436	395	407	375	435	424	390	413	450	506	498	478	462	472	479
自動車	138	161	172	170	172	169	161	140	138	130	123	125	102	100	93	89	91	85	75	74
鉄道	4	5	4	4	5	6	5	5	4	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6
運輸部門	142	166	176	174	177	175	166	145	142	135	128	129	107	106	99	95	97	91	81	80
廃棄物部門	10	9	14	15	12	12	13	12	11	8	7	9	8	9	7	12	12	10	10	9
合計	515	564	581	571	623	677	620	616	575	622	600	577	567	605	652	651	627	596	584	594

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

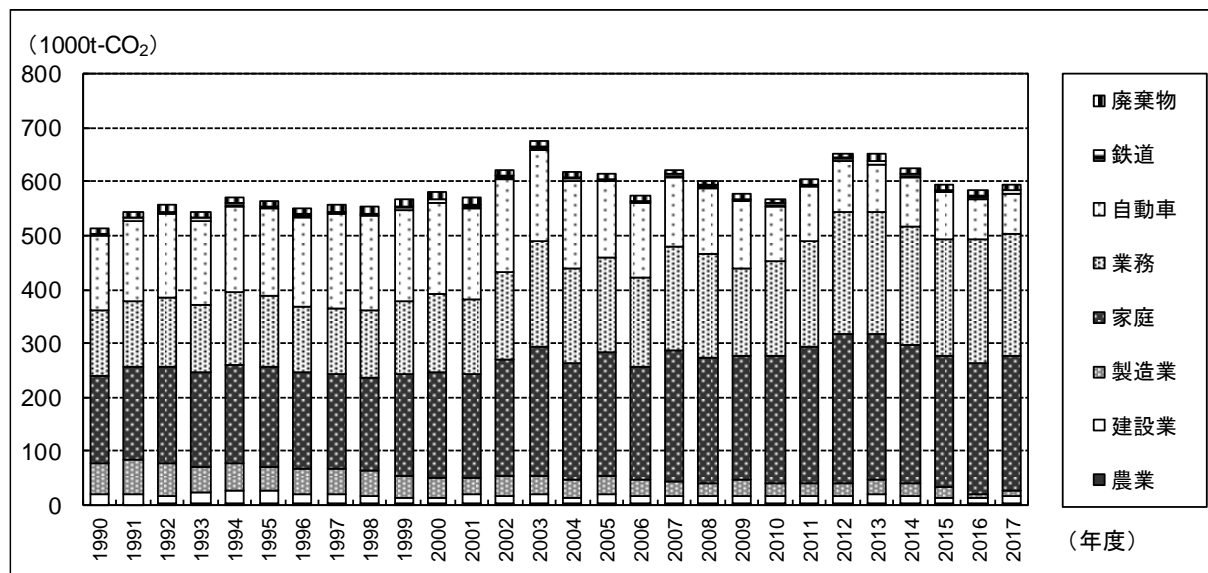


図 I-5 三鷹市における部門別二酸化炭素排出量の推移

6. 青梅市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-11 青梅市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	543	543	594	622	616	669	706	637	602	572	623	598	558	576	602	622	615	557	535	529	525
メタン (CH ₄)	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	8	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	5	5	4	4	3	3	3	3	3	3
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	3		3	6	6	6	7	6	6	5	12	14	15	16	18	20	26	28	31	34	37
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	8		8	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	5	4	3	3	3	5	6
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	4		4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																0	0	0	1	1
合計	570	554	620	642	635	687	726	650	615	585	641	619	580	598	631	652	650	594	573	572	573

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-12 青梅市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	4	7	7	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6
建設業	25	18	9	8	8	11	11	10	11	10	11	9	11	9	6	9	7	6	6	9
製造業	96	100	123	115	125	132	105	92	90	114	109	90	99	102	100	100	97	92	87	88
産業部門	125	124	138	130	141	150	123	108	108	131	127	106	116	118	113	116	111	103	98	103
家庭	116	134	131	131	144	157	136	141	127	152	145	143	148	159	171	178	166	154	149	155
業務	131	135	137	135	157	175	162	155	147	165	160	139	139	163	179	172	131	135	135	126
民生部門	247	269	268	266	301	333	298	296	274	317	304	283	287	322	350	350	297	289	283	280
自動車	160	189	203	204	208	205	198	175	172	162	154	155	160	147	142	135	134	126	124	121
鉄道	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3	3
運輸部門	163	192	206	206	211	209	201	178	174	165	157	158	163	150	146	139	138	130	127	125
廃棄物部門	7	9	9	14	15	14	14	19	16	10	10	12	10	11	12	11	11	13	20	18
合計	543	594	622	616	669	706	637	602	572	623	598	558	576	602	622	615	557	535	529	525

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

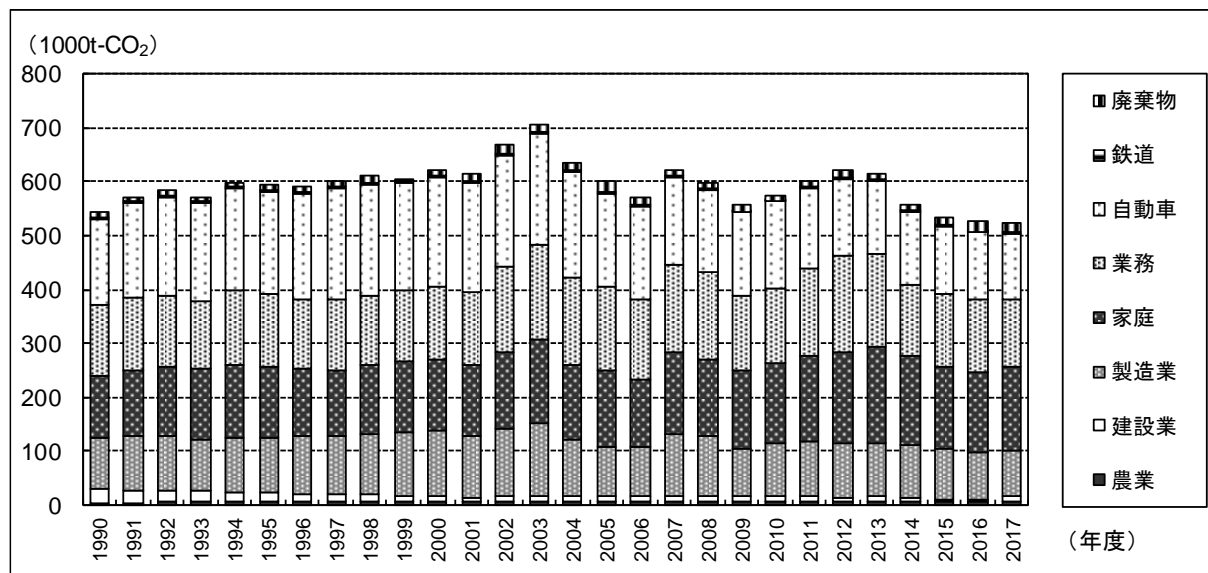


図 I-6 青梅市における部門別二酸化炭素排出量の推移

7. 府中市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-13 府中市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	917	917	981	1,064	1,052	1,179	1,222	1,111	1,103	1,024	1,118	1,084	1,034	1,041	1,093	1,156	1,145	1,085	1,024	997	1,005
メタン (CH ₄)	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	9	9	10	10	10	9	9	8	8	8	8	7	7	5	5	4	4	4	4	4	4
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	3		3	8	9	10	10	10	10	8	23	27	31	34	38	42	57	62	69	75	85
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	2		2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	2		2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																0	0	0	0	0
合計	936	928	1,000	1,084	1,073	1,200	1,242	1,131	1,123	1,042	1,150	1,120	1,073	1,083	1,139	1,207	1,210	1,155	1,102	1,079	1,098

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-14 府中市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
建設業	43	28	18	19	39	23	15	8	10	33	17	19	24	25	21	24	19	12	13	20
製造業	230	204	218	212	213	211	182	152	142	152	152	137	152	178	202	206	195	174	185	172
産業部門	274	234	239	234	255	237	200	163	155	189	172	158	179	206	226	233	217	188	201	195
家庭	212	236	244	243	276	304	276	299	271	312	301	296	310	334	362	363	342	325	324	333
業務	176	215	255	249	306	362	331	380	329	373	370	343	334	336	360	346	325	317	287	297
民生部門	388	451	499	492	583	665	608	679	600	685	672	640	643	670	722	709	667	643	611	630
自動車	232	274	300	297	300	293	279	235	230	217	208	208	200	194	183	177	177	169	159	157
鉄道	12	14	12	12	14	17	14	14	13	16	15	14	14	17	20	20	19	18	18	18
運輸部門	244	288	312	309	314	309	294	249	243	233	223	222	214	211	202	196	195	188	177	175
廃棄物部門	12	8	14	16	27	10	10	12	26	11	17	14	5	6	5	7	5	6	8	5
合計	917	981	1,064	1,052	1,179	1,222	1,111	1,103	1,024	1,118	1,084	1,034	1,041	1,093	1,156	1,145	1,085	1,024	997	1,005

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

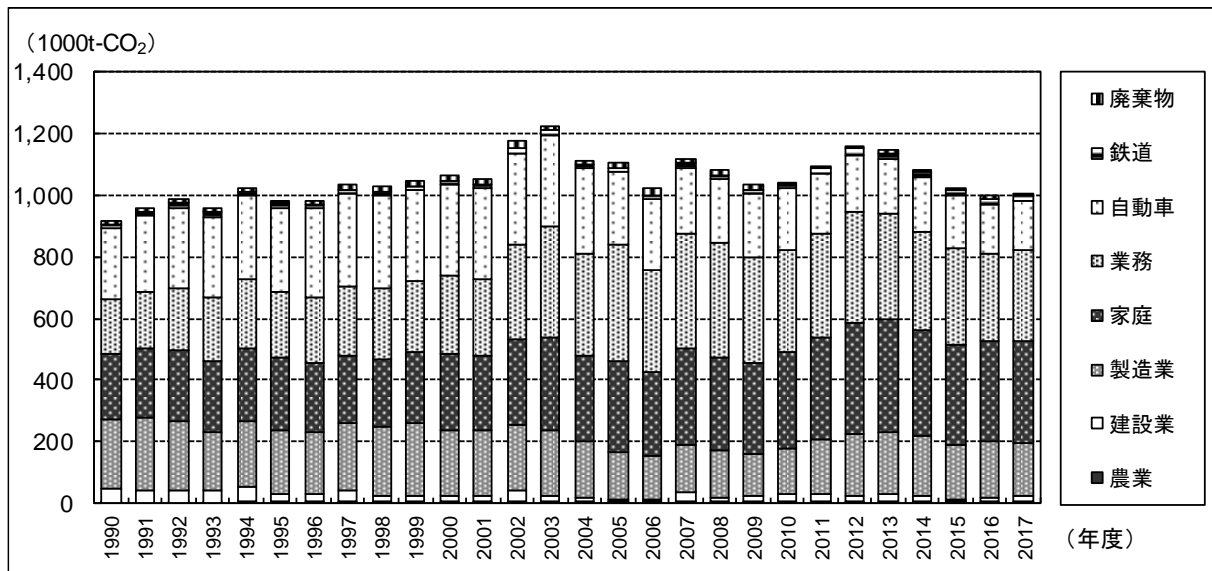


図 I-7 府中市における部門別二酸化炭素排出量の推移

8. 昭島市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-15 昭島市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
二酸化炭素 (CO ₂)		475	475	482	526	462	523	545	469	474	460	526	502	472	462	495	521	519	499	483	480	482
メタン (CH ₄)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)		4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)		2		2	4	4	4	4	4	4	3	8	9	11	12	13	15	20	22	24	27	31
パーフルオロカーボン類 (PFCs)		19		19	4	3	4	4	0	0	0	0	0	0	0	8	10	15	17	17	20	26
六ふっ化硫黄 (SF ₆)		7		7	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	3	2	2	2	2	2	3
三ふっ化窒素 (NF ₃)		1																1	1	2	2	3
合計		509	479	515	539	476	536	558	477	482	467	539	515	486	477	521	551	560	545	531	533	547

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-16 昭島市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業	13	13	13	10	18	7	18	9	9	7	12	7	11	9	8	8	17	7	5	9
製造業	153	122	151	100	103	117	110	105	113	129	109	101	95	168	143	150	148	139	143	149
産業部門	167	136	166	111	123	125	129	115	124	137	122	110	108	178	153	160	167	147	149	159
家庭	106	114	111	110	127	135	110	119	108	128	122	122	126	136	147	151	142	132	128	134
業務	101	116	134	127	157	167	116	134	126	163	160	147	147	100	141	130	114	130	133	123
民生部門	207	230	245	237	284	302	226	253	234	291	281	269	273	236	288	281	255	262	261	257
自動車	89	102	101	101	102	99	96	87	85	80	78	77	69	67	65	62	61	58	54	53
鉄道	6	7	6	6	7	8	7	7	6	7	7	7	6	7	9	9	8	8	8	8
運輸部門	95	109	107	106	109	108	102	94	91	88	86	83	76	74	73	70	70	66	62	60
廃棄物部門	6	6	8	9	8	10	11	11	10	11	12	10	5	6	7	8	8	9	8	6
合計	475	482	526	462	523	545	469	474	460	526	502	472	462	495	521	519	499	483	480	482

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

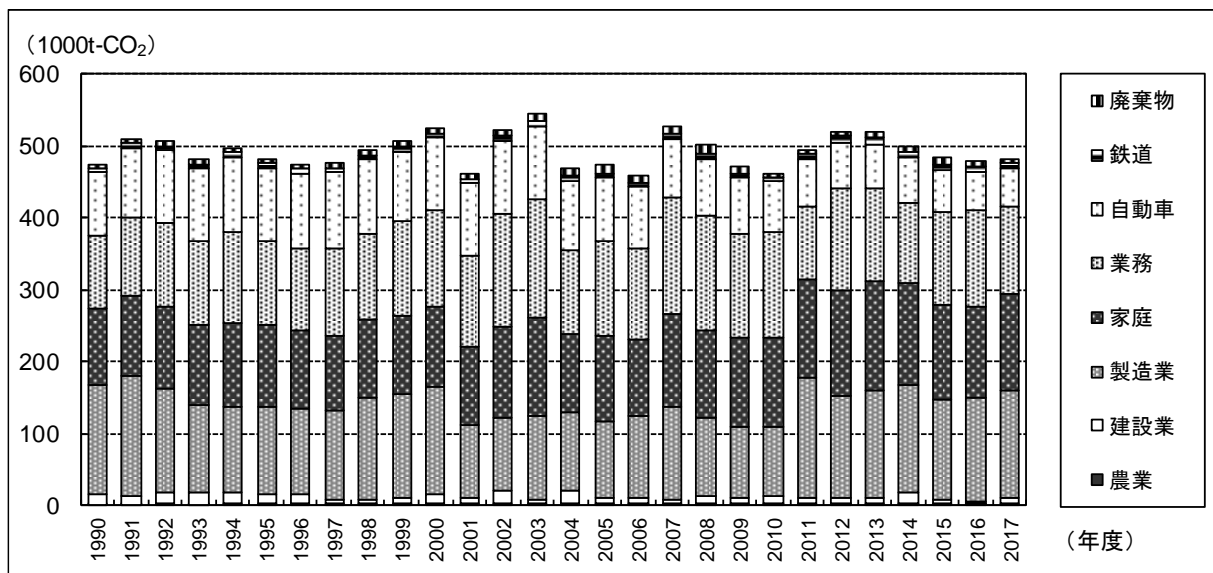


図 I-8 昭島市における部門別二酸化炭素排出量の推移

9. 調布市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-17 調布市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	648	648	708	708	684	765	811	749	735	696	757	749	709	714	748	794	794	744	687	674	691
メタン (CH ₄)	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	8	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	6	5	4	4	4	3	3	3	3	3
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	3		3	7	7	8	8	8	8	7	17	20	23	25	27	30	39	44	48	53	62
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	4		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	2		2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																	0	0	0	0
合計	667	657	727	725	701	781	828	765	751	710	781	776	739	745	779	829	838	793	740	732	758

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-18 調布市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	3	3	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
建設業	18	24	16	14	23	18	21	14	26	14	17	15	20	22	16	24	15	11	14	16
製造業	79	66	54	44	52	50	47	45	36	40	37	35	32	26	22	22	21	21	20	21
産業部門	98	93	72	60	78	70	70	61	65	56	57	52	55	51	41	48	38	33	36	39
家庭	205	222	230	224	260	285	261	277	251	291	284	277	286	311	336	332	313	299	298	307
業務	156	177	186	183	207	237	212	215	200	237	243	216	214	229	268	261	242	214	210	216
民生部門	361	400	416	406	467	523	473	492	452	528	528	493	500	540	604	593	555	513	508	523
自動車	171	197	201	199	201	196	187	169	166	156	150	150	144	139	132	128	128	123	112	111
鉄道	8	8	7	7	9	11	9	9	8	10	9	8	8	10	11	12	12	11	11	11
運輸部門	179	205	208	206	210	207	196	178	174	166	159	158	153	150	143	140	140	134	123	122
廃棄物部門	10	11	12	11	10	12	10	4	5	6	5	6	8	7	6	13	12	7	7	7
合計	648	708	708	684	765	811	749	735	696	757	749	709	714	748	794	794	744	687	674	691

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

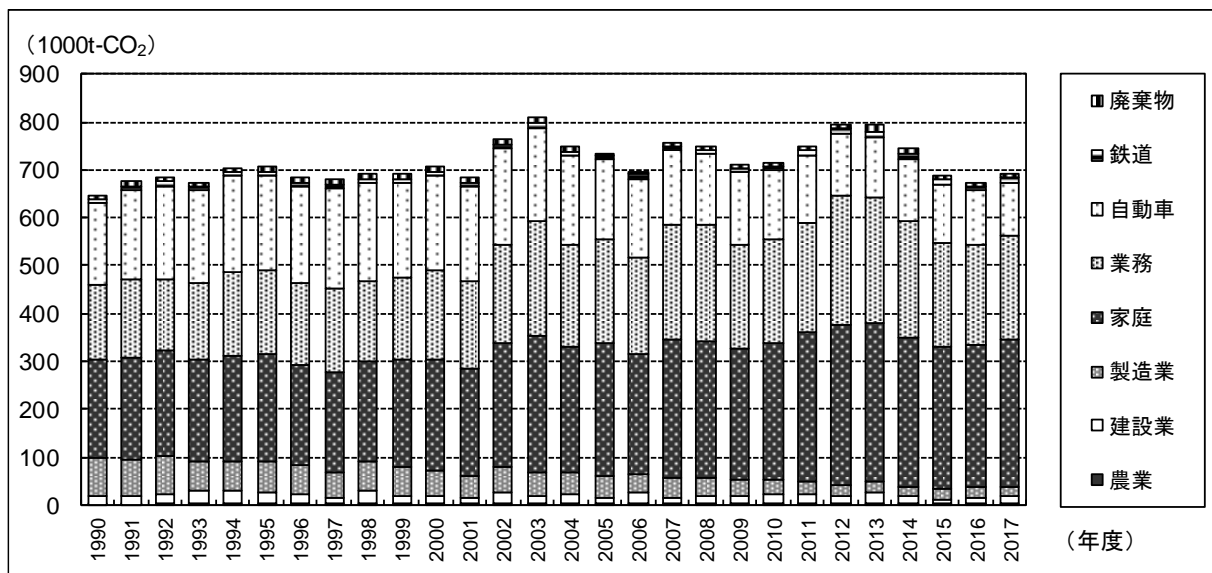


図 I-9 調布市における部門別二酸化炭素排出量の推移

10. 町田市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-19 町田市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	989	989	1,129	1,208	1,171	1,233	1,317	1,310	1,268	1,175	1,360	1,315	1,248	1,239	1,300	1,409	1,406	1,315	1,247	1,203	1,218
メタン (CH ₄)	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
一酸化二窒素 (N ₂ O)	14	14	15	14	14	13	13	12	12	12	12	11	11	8	7	7	6	6	6	5	6
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	5		5	12	13	14	14	14	14	12	31	37	42	44	48	54	72	81	89	97	111
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	2		2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																0	0	0	0	0
合計	1,016	1,007	1,157	1,239	1,202	1,264	1,348	1,340	1,297	1,202	1,406	1,366	1,304	1,295	1,359	1,475	1,489	1,407	1,347	1,310	1,338

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-20 町田市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	5	9	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	7	7	7	7
建設業	46	52	44	41	38	42	42	43	42	36	29	37	44	30	33	26	23	20	18	33
製造業	52	41	38	36	33	34	32	29	29	41	35	32	34	36	36	37	38	38	40	41
産業部門	104	101	90	85	80	85	83	80	79	86	73	77	86	75	77	71	70	64	65	81
家庭	334	381	395	396	421	468	453	449	411	511	493	486	508	548	591	600	564	529	519	540
業務	211	242	269	245	268	306	334	341	293	383	383	331	330	362	420	416	383	367	363	347
民生部門	545	623	665	641	689	774	788	789	703	893	876	817	838	910	1,011	1,017	947	896	882	887
自動車	288	343	383	380	386	379	363	328	322	303	289	290	248	236	225	215	214	202	172	168
鉄道	24	25	25	24	29	35	29	28	25	30	30	27	26	31	35	35	33	32	29	29
運輸部門	312	369	408	404	416	415	392	356	347	334	318	318	275	267	259	250	248	234	201	197
廃棄物部門	29	35	45	41	48	43	47	42	46	46	47	36	40	49	62	68	51	54	56	54
合計	989	1,129	1,208	1,171	1,233	1,317	1,310	1,268	1,175	1,360	1,315	1,248	1,239	1,300	1,409	1,406	1,315	1,247	1,203	1,218

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

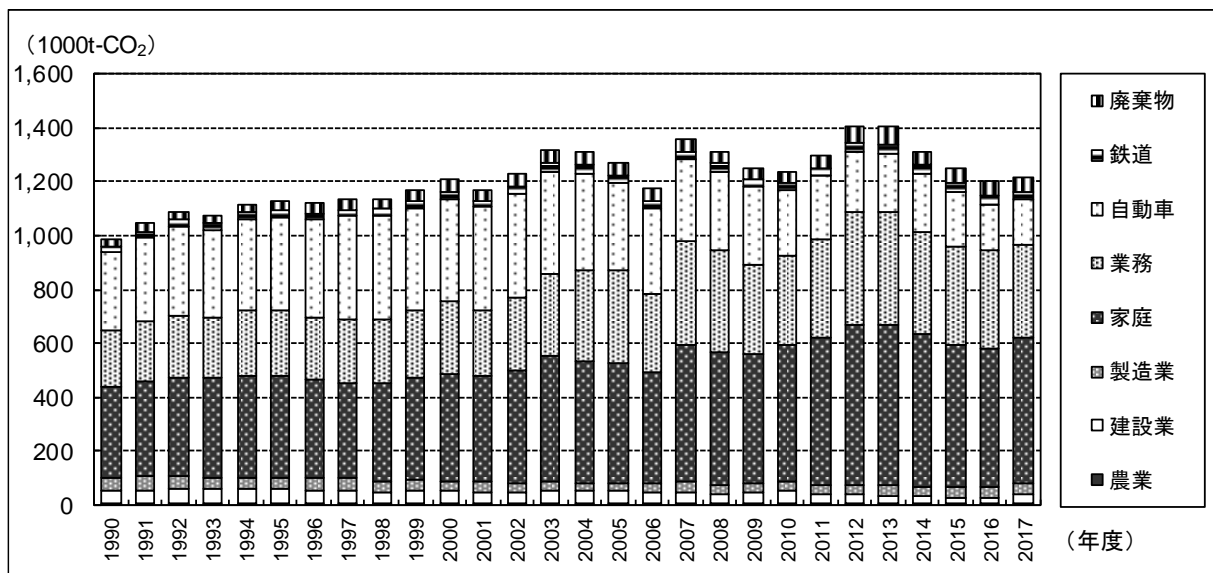


図 I-10 町田市における部門別二酸化炭素排出量の推移

11. 小金井市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-21 小金井市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
二酸化炭素 (CO ₂)		236	236	272	278	273	305	332	297	300	277	318	301	300	295	320	340	333	319	307	303	312
メタン (CH ₄)		0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)		3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)		1		1	3	3	3	3	3	4	3	8	9	11	11	12	13	18	20	22	24	28
パーフルオロカーボン類 (PFCs)		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)		0																0	0	0	0	0
合計		241	239	277	284	280	312	339	304	307	283	329	313	313	308	333	354	352	341	331	329	341

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-22 小金井市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業	14	17	8	10	8	8	7	7	8	13	5	13	6	16	9	5	11	6	5	14
製造業	6	4	3	2	2	2	4	3	3	4	4	3	4	3	5	7	4	4	4	3
産業部門	20	22	12	13	12	11	12	11	13	19	10	17	11	20	15	14	16	11	10	19
家庭	107	119	123	123	142	157	141	153	138	157	149	145	152	164	178	176	167	158	158	164
業務	49	62	71	66	79	91	75	75	67	84	85	82	82	88	98	96	90	94	95	89
民生部門	156	181	194	189	221	248	216	228	205	240	234	227	235	252	276	272	257	252	253	253
自動車	46	54	59	59	60	59	56	48	47	44	42	42	38	35	33	32	32	30	27	26
鉄道	8	8	7	7	8	10	8	8	7	9	8	8	8	9	10	10	10	10	9	9
運輸部門	53	62	67	66	68	69	64	56	54	53	50	50	45	44	43	42	42	40	36	35
廃棄物部門	7	6	5	5	4	5	5	5	5	6	6	5	4	4	5	5	4	4	4	4
合計	236	272	278	273	305	332	297	300	277	318	301	300	295	320	340	333	319	307	303	312

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

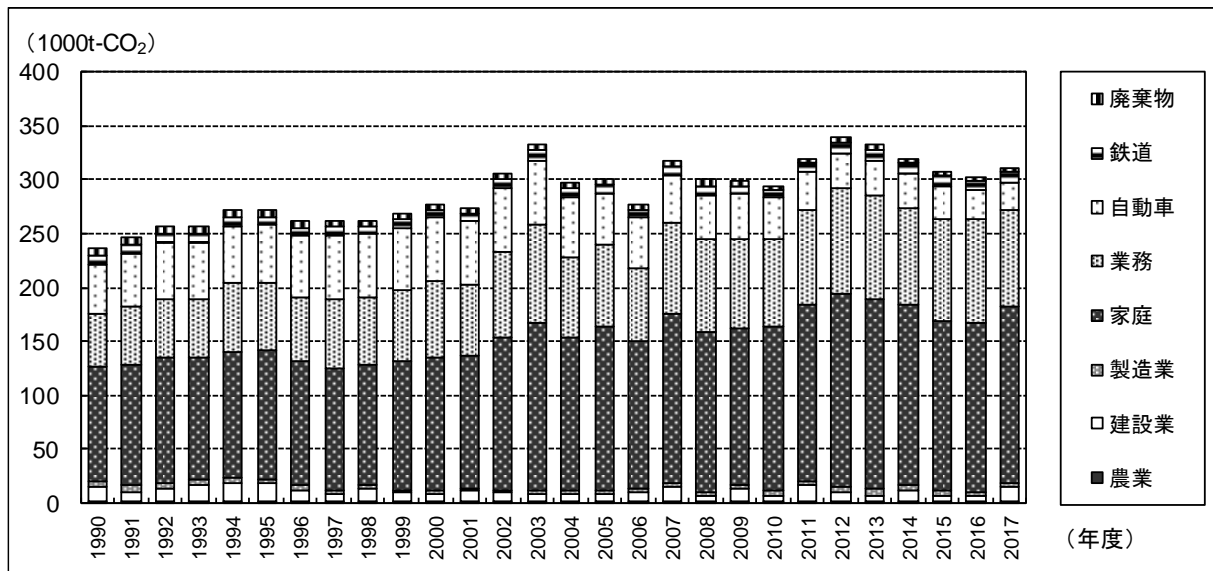


図 I-11 小金井市における部門別二酸化炭素排出量の推移

12. 小平市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-23 小平市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	503	503	558	577	569	641	686	639	677	617	669	642	609	608	626	652	643	604	577	545	538
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	8		8	6	6	6	6	6	6	5	13	15	17	19	20	23	30	34	37	40	46
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	131		131	21	14	16	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	41		41	6	4	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	5																	0	0	0	0
合計	694	508	744	615	598	673	714	650	688	627	687	662	630	631	651	678	677	641	618	588	588

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-24 小平市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
建設業	19	24	12	11	12	13	19	15	18	10	10	19	15	18	13	14	14	13	14	5
製造業	56	100	132	112	141	141	221	201	145	112	101	86	120	117	106	95	91	82	50	39
産業部門	76	126	147	126	155	157	244	219	166	126	114	109	137	137	122	112	108	97	66	46
家庭	158	183	189	186	212	230	208	225	204	230	221	217	226	241	262	263	248	233	232	239
業務	170	135	116	123	136	167	63	116	136	202	203	180	148	152	177	178	163	163	170	179
民生部門	329	318	304	309	347	397	271	342	340	432	424	397	374	393	439	441	410	396	402	418
自動車	79	94	103	102	104	102	97	84	82	78	74	75	69	64	61	59	59	55	49	48
鉄道	7	8	8	8	9	11	9	9	8	10	10	9	9	10	11	11	11	10	10	10
運輸部門	86	102	111	110	113	113	106	93	91	88	84	84	78	74	72	70	69	66	59	58
廃棄物部門	12	11	15	24	26	21	17	23	20	23	20	19	19	22	18	20	16	19	17	16
合計	503	558	577	569	641	686	639	677	617	669	642	609	608	626	652	643	604	577	545	538

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

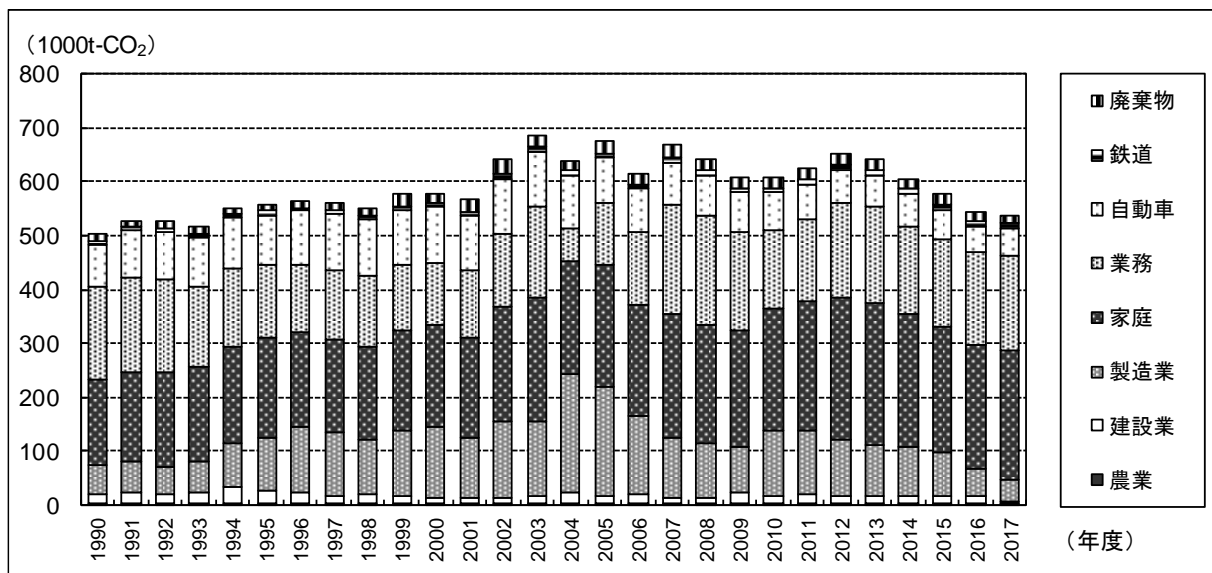


図 I-12 小平市における部門別二酸化炭素排出量の推移

13. 日野市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-25 日野市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	763	763	833	813	789	848	884	834	797	731	792	755	706	698	721	742	731	703	652	626	625
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	8	8	8	8	7	7	7	6	6	6	6	6	5	4	3	3	3	3	3	3	3
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	2		2	5	6	6	7	7	7	6	13	15	17	19	20	22	30	33	38	42	48
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	2	1
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	2		2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																2	1	1	0	0
合計	777	772	848	827	804	863	899	848	811	744	813	777	730	721	748	771	766	741	695	674	678

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-26 日野市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2
建設業	16	20	21	9	12	11	8	9	19	12	11	11	15	13	14	23	27	9	8	16
製造業	259	284	242	238	261	290	289	308	231	255	206	177	176	202	187	191	194	184	188	136
産業部門	277	307	266	250	277	304	300	320	253	270	220	191	194	218	204	217	224	195	199	154
家庭	162	178	176	174	197	216	194	206	189	217	210	206	214	231	247	252	235	224	222	229
業務	100	91	100	97	97	96	74	41	70	94	122	103	101	92	120	95	73	67	51	86
民生部門	262	269	276	271	295	311	268	247	259	311	331	309	315	323	366	347	308	291	273	314
自動車	200	235	246	244	247	243	232	201	197	186	177	178	158	151	141	135	136	128	121	119
鉄道	9	9	8	8	9	11	9	9	8	10	9	8	8	10	11	11	10	10	10	10
運輸部門	209	244	254	251	256	253	241	210	205	195	186	186	166	161	152	147	146	139	131	129
廃棄物部門	15	14	16	16	21	16	26	20	15	16	18	19	22	20	20	20	24	27	23	28
合計	763	833	813	789	848	884	834	797	731	792	755	706	698	721	742	731	703	652	626	625

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

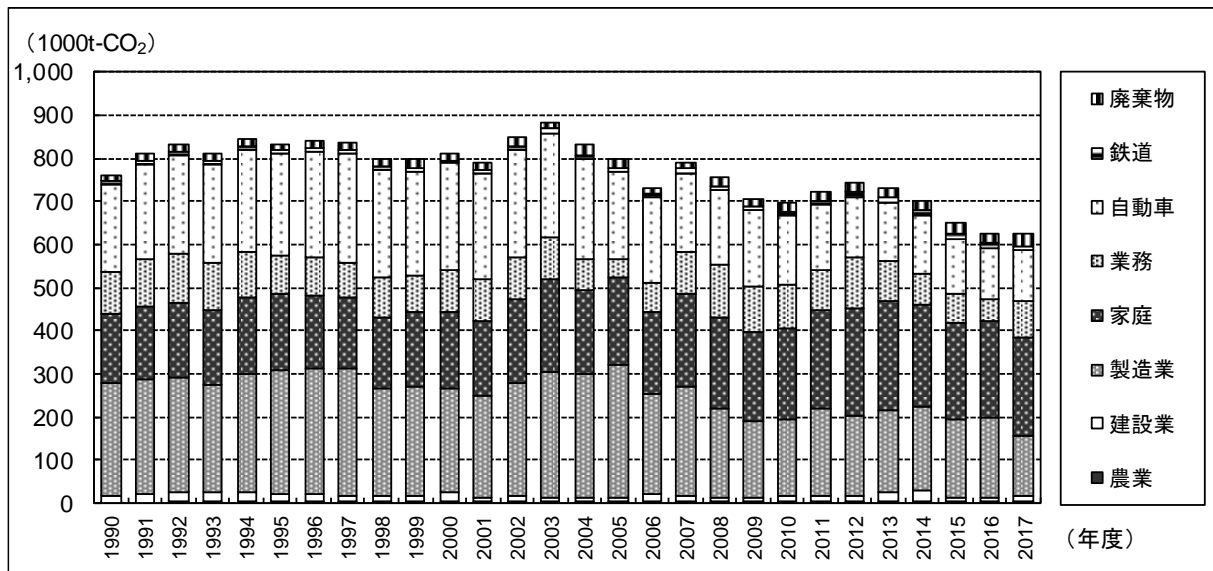


図 I-13 日野市における部門別二酸化炭素排出量の推移

14. 東村山市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-27 東村山市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	367	367	418	441	429	476	486	415	433	407	468	459	443	434	457	486	486	459	426	413	418
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	2		2	4	4	5	5	5	5	4	10	11	13	14	14	16	21	24	26	28	32
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																1	0	0	0	0
合計	376	372	427	452	439	486	496	425	443	416	482	474	460	451	475	506	512	486	455	444	454

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-28 東村山市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	2	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2
建設業	15	23	8	9	11	11	8	9	14	12	9	10	8	13	7	9	7	6	8	10
製造業	41	39	36	32	34	37	37	37	33	41	41	40	40	39	43	44	36	37	44	41
産業部門	57	65	46	43	48	51	48	49	50	56	52	53	51	54	53	55	46	46	54	54
家庭	127	141	148	146	165	174	146	159	145	176	171	169	177	191	206	207	194	182	179	184
業務	77	90	118	109	128	126	93	103	97	122	128	113	119	128	144	145	141	125	111	113
民生部門	204	231	267	256	293	300	239	261	242	299	299	282	296	318	350	351	336	307	290	297
自動車	91	107	115	114	115	114	109	101	99	93	88	89	71	65	60	58	58	54	50	49
鉄道	7	9	9	8	10	12	10	10	9	11	11	10	10	11	13	13	12	12	11	11
運輸部門	99	116	123	122	126	126	119	111	108	104	99	100	81	77	73	71	70	66	61	60
廃棄物部門	7	6	6	8	9	10	9	12	8	9	9	9	6	7	10	8	7	7	7	8
合計	367	418	441	429	476	486	415	433	407	468	459	443	434	457	486	486	459	426	413	418

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

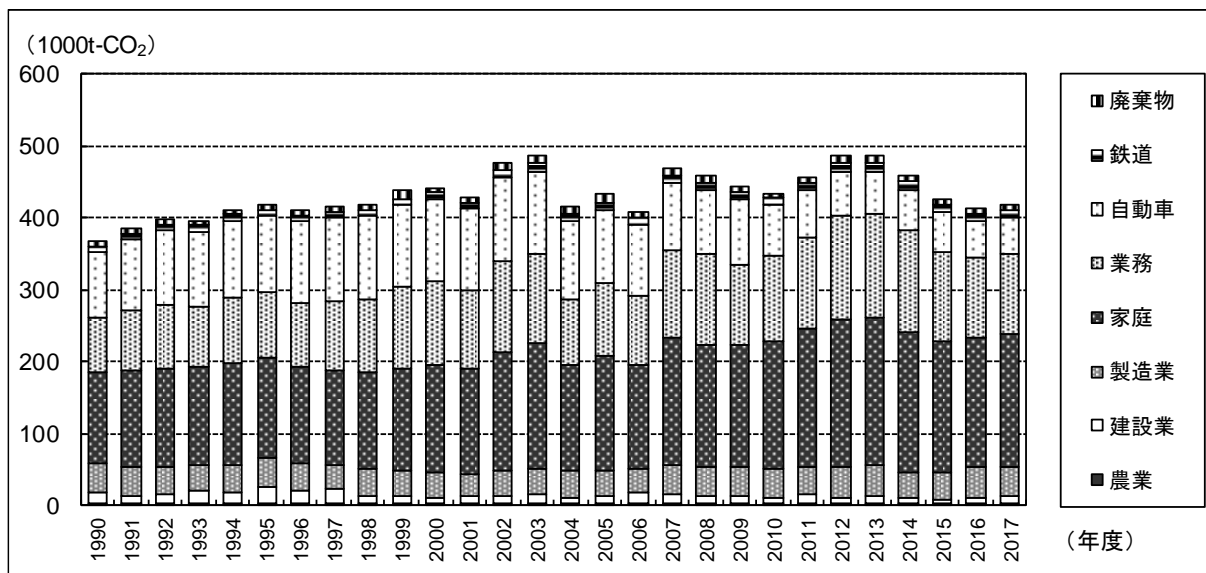


図 I-14 東村山市における部門別二酸化炭素排出量の推移

15. 国分寺市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-29 国分寺市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	252	252	296	303	294	333	368	342	327	303	361	347	333	327	337	363	354	338	322	311	316
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	1		1	3	3	4	4	4	4	3	8	10	11	12	13	15	19	22	24	26	30
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																				
合計	258	256	303	310	301	340	375	349	334	310	372	360	347	341	352	379	376	362	348	339	348

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-30 国分寺市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
建設業	12	15	7	7	8	10	11	6	7	7	6	10	11	8	7	8	8	11	8	7
製造業	6	5	6	6	7	8	7	7	6	7	6	8	9	6	6	6	5	5	5	5
産業部門	19	22	15	15	17	19	19	16	15	15	13	20	22	16	15	16	15	18	15	14
家庭	104	122	130	127	148	162	146	148	135	163	156	152	158	168	183	181	172	162	162	167
業務	64	73	78	76	89	102	98	89	82	108	106	90	91	96	105	100	93	90	89	90
民生部門	168	195	208	203	237	265	243	236	217	272	262	243	248	264	288	280	265	252	251	257
自動車	44	52	55	55	55	54	52	48	47	45	42	42	32	30	29	27	27	26	22	22
鉄道	14	17	16	15	19	22	18	18	16	20	19	18	17	20	23	23	22	22	21	20
運輸部門	58	69	71	70	74	77	70	66	63	65	61	60	50	50	52	50	49	47	43	42
廃棄物部門	6	10	8	6	6	7	8	9	9	9	10	10	7	7	8	8	9	4	3	3
合計	252	296	303	294	333	368	342	327	303	361	347	333	327	337	363	354	338	322	311	316

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

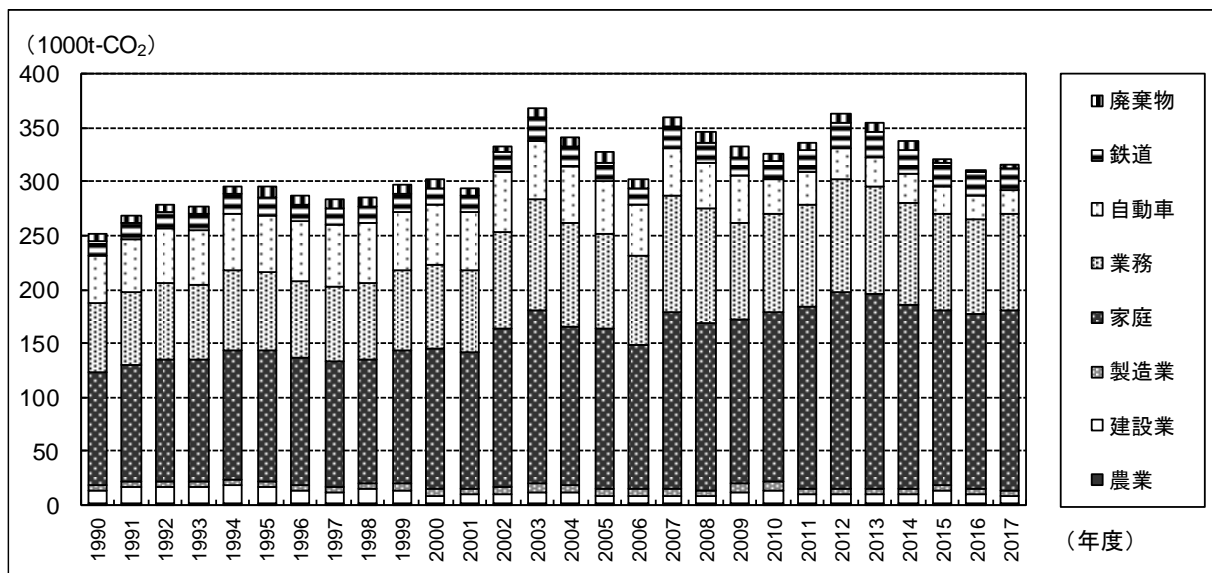


図 I-15 国分寺市における部門別二酸化炭素排出量の推移

16. 国立市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-31 国立市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	211	211	239	248	242	269	289	265	247	231	268	257	245	245	257	276	270	262	252	245	246
メタン (CH ₄)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素 (N ₂ O)	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	1		1	3	3	3	3	3	3	2	6	7	8	9	10	11	14	16	18	20	22
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																				
合計	216	214	244	255	248	276	296	271	252	236	277	267	255	256	269	288	286	280	272	266	269

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-32 国立市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業	10	14	9	6	7	5	7	4	6	5	5	5	7	9	10	6	5	4	3	4
製造業	3	4	4	4	5	5	7	5	4	4	3	4	4	4	3	4	4	4	5	5
産業部門	14	19	14	11	13	12	14	10	10	10	9	10	12	14	14	11	10	10	8	10
家庭	68	76	82	81	93	102	91	96	87	101	97	95	100	106	116	116	109	102	100	103
業務	53	57	60	58	69	80	70	58	54	80	78	68	68	74	84	83	82	82	82	79
民生部門	121	133	142	139	161	182	162	153	141	181	175	163	168	180	199	198	191	184	182	182
自動車	66	78	82	81	82	81	77	70	69	65	62	62	56	52	49	47	47	45	41	40
鉄道	6	7	6	6	7	8	7	7	6	7	7	6	6	7	8	8	8	8	7	7
運輸部門	73	85	88	87	89	89	84	77	75	72	68	68	62	59	57	56	55	53	49	48
廃棄物部門	3	3	4	5	6	6	5	7	5	4	5	3	4	5	5	5	6	6	6	6
合計	211	239	248	242	269	289	265	247	231	268	257	245	245	257	276	270	262	252	245	246

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

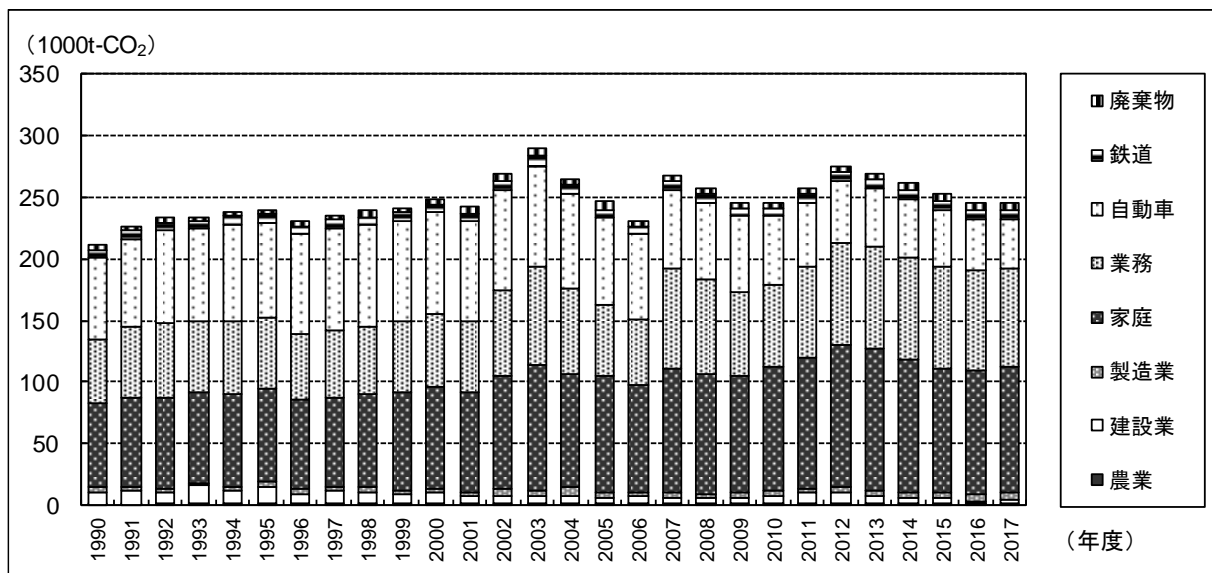


図 I-16 国立市における部門別二酸化炭素排出量の推移

17. 福生市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-33 福生市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂) (CO ₂ 参考値)	290	290	328	327	324	361	361	308	320	285	324	314	307	290	266	291	287	284	295 (253)	288 (247)	286 (244)
メタン (CH ₄)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素 (N ₂ O)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	1		1	3	3	3	3	3	3	2	5	5	6	6	7	8	10	12	13	14	16
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																	0	0	0	0
合計 (合計 参考値)	296	294	334	333	330	367	367	314	325	290	331	322	316	298	275	301	300	297	310 (267)	304 (262)	303 (262)

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

(注) 参考値は、民生家庭部門及び民生業務部門に横田飛行場(横田基地)分の控除のための補正を加えた値である。

表 I-34 福生市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	11	8	3	4	7	4	3	4	6	4	3	4	5	4	4	4	3	3	2	2
製造業	8	8	10	7	8	8	14	15	10	13	10	11	14	13	17	14	11	11	12	10
産業部門	19	16	13	11	15	12	17	19	17	17	14	15	19	17	21	18	14	14	15	12
家庭 (家庭 参考値)	58	66	64	63	72	74	60	65	59	72	69	68	70	75	81	83	76	70	68	71
業務 (業務 参考値)	110	125	129	128	151	153	115	128	105	136	138	129	122	98	115	114	123	145 (111)	142 (108)	140 (107)
民生部門 (民生部門 参考値)	168	192	193	191	223	227	175	193	164	208	207	197	192	172	195	197	199	214 (172)	209 (167)	211 (169)
自動車	95	111	112	111	113	111	106	96	94	89	85	85	71	67	65	61	61	57	52	51
鉄道	4	4	4	4	4	5	4	4	4	5	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5
運輸部門	99	115	115	115	117	116	110	100	98	93	89	89	75	72	70	67	66	62	57	56
廃棄物部門	4	5	5	7	6	6	5	7	6	5	4	5	4	5	5	5	5	5	8	7
合計 (合計 参考値)	290	328	327	324	361	361	308	320	285	324	314	307	290	266	291	287	284	295 (253)	288 (247)	286 (244)

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

(注) 参考値は、民生家庭部門及び民生業務部門に横田飛行場(横田基地)分の控除のための補正を加えた値である。

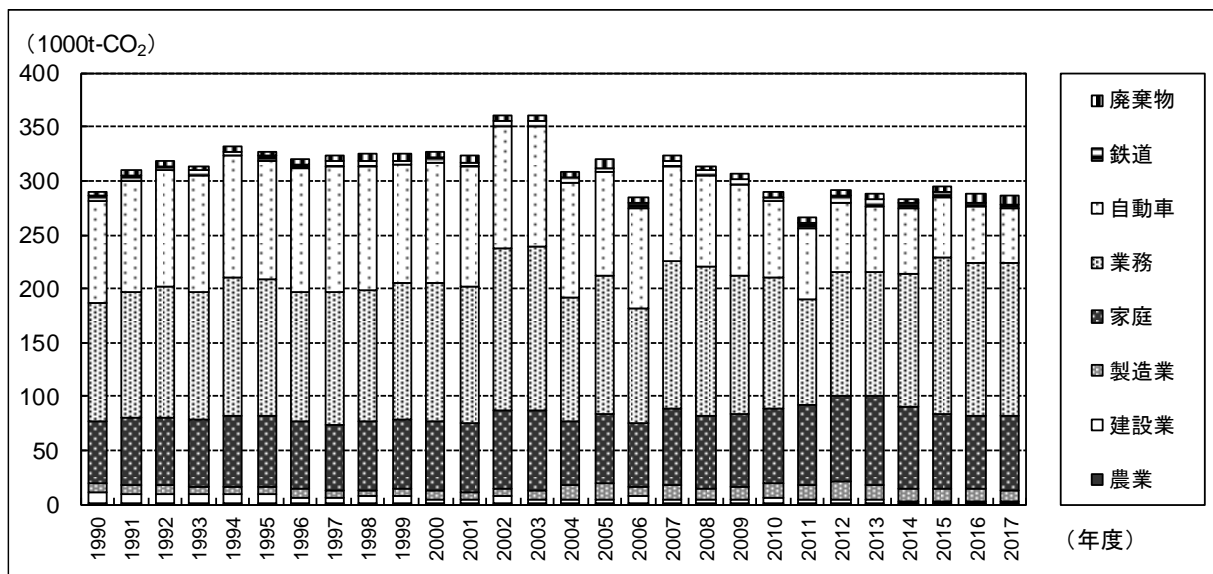


図 I-17 福生市における部門別二酸化炭素排出量の推移

18. 狛江市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-35 狛江市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
二酸化炭素 (CO ₂)		162	162	184	196	188	209	220	205	194	191	203	201	195	189	192	208	202	195	186	184	186
メタン (CH ₄)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素 (N ₂ O)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)		1		1	2	2	3	3	3	2	2	4	5	6	6	6	7	9	11	11	13	16
パーフルオロカーボン類 (PFCs)		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)		0																0	0	0	0	0
合計		165	164	188	201	193	214	225	209	199	195	210	208	203	197	200	216	213	207	198	198	203

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-36 狛江市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業	5	6	5	4	6	4	6	3	3	3	4	3	5	5	9	4	4	5	4	3
製造業	9	7	6	5	4	5	6	5	4	6	4	4	4	6	3	3	2	2	3	3
産業部門	15	14	12	10	11	10	13	9	9	10	9	8	10	12	13	8	8	8	8	7
家庭	74	85	86	83	97	105	96	98	89	103	99	96	100	107	115	115	108	104	104	107
業務	25	31	35	32	39	43	37	34	42	42	43	38	38	37	43	42	41	39	39	41
民生部門	99	115	121	116	136	148	132	132	131	145	142	134	138	144	158	157	149	143	143	147
自動車	42	50	55	54	55	54	52	47	46	44	41	42	32	30	28	27	27	26	22	22
鉄道	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
運輸部門	44	51	57	56	57	57	54	49	48	46	43	44	34	32	31	30	30	28	24	24
廃棄物部門	4	4	7	6	5	5	5	4	3	3	6	8	7	4	6	7	8	6	8	8
合計	162	184	196	188	209	220	205	194	191	203	201	195	189	192	208	202	195	186	184	186

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

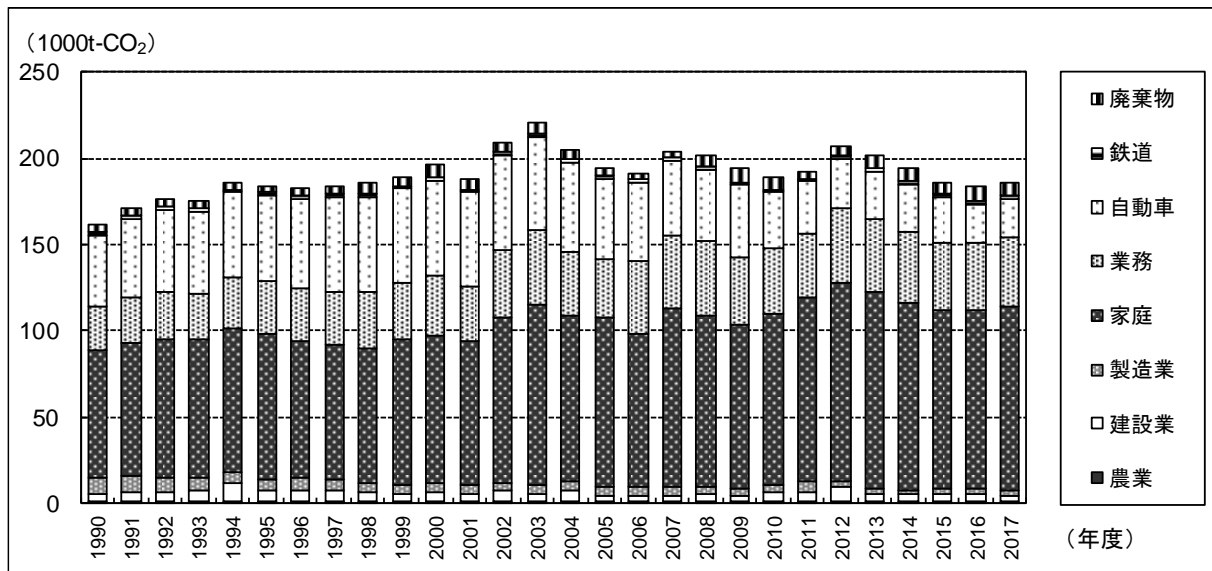


図 I-18 狛江市における部門別二酸化炭素排出量の推移

19. 東大和市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-37 東大和市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	245	245	276	301	299	321	355	325	323	299	336	322	308	294	305	313	308	293	286	277	277
メタン (CH ₄)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素 (N ₂ O)	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	1		1	3	3	3	3	3	3	2	5	6	7	8	8	9	12	14	15	16	19
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																	0	0	0	0
合計	250	248	282	308	306	328	362	332	329	305	344	331	318	304	315	324	322	308	303	295	297

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-38 東大和市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
建設業	7	9	8	8	4	12	6	12	5	5	4	6	6	9	8	6	3	4	2	4
製造業	51	51	63	64	75	83	80	78	87	95	86	88	82	84	84	87	82	84	89	84
産業部門	59	62	73	74	81	97	87	92	94	102	92	95	89	94	94	95	87	89	93	89
家庭	71	80	80	79	90	100	90	87	80	101	97	95	99	107	116	116	110	103	101	104
業務	32	38	41	38	40	47	43	44	28	39	45	32	34	34	39	34	36	37	33	35
民生部門	103	118	121	117	129	147	133	131	107	140	141	127	133	141	154	150	146	140	134	139
自動車	76	90	99	99	100	99	94	87	85	80	76	77	63	59	55	53	53	49	43	42
鉄道	1	1	1	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
運輸部門	77	91	101	100	102	100	96	89	87	82	78	79	64	61	58	55	55	51	44	44
廃棄物部門	5	6	7	9	9	10	9	12	11	12	11	8	7	9	7	8	5	7	6	5
合計	245	276	301	299	321	355	325	323	299	336	322	308	294	305	313	308	293	286	277	277

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

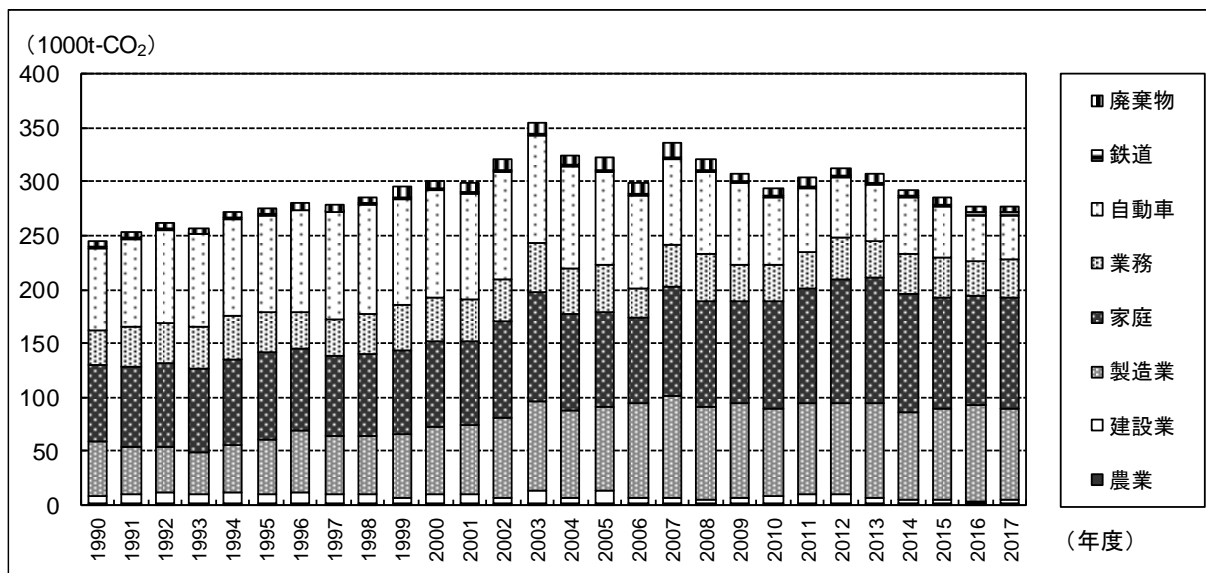


図 I-19 東大和市における部門別二酸化炭素排出量の推移

20. 清瀬市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-39 清瀬市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	173	173	198	218	211	236	246	229	218	202	238	231	221	225	242	259	258	244	238	229	233
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	1		1	2	2	2	2	2	2	2	5	6	7	7	8	9	12	13	14	16	18
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																	0	0	0	0
合計	178	177	202	224	217	241	251	234	223	207	246	240	231	234	253	270	272	260	255	247	253

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-40 清瀬市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
建設業	4	10	6	5	9	7	6	3	4	4	3	4	6	8	3	5	4	4	3	5
製造業	5	4	7	5	4	3	5	6	5	5	7	5	6	10	8	10	10	11	8	8
産業部門	11	16	16	12	16	13	13	12	11	12	13	12	15	20	13	17	17	17	13	15
家庭	61	67	68	67	77	83	78	76	69	87	83	82	85	93	101	100	95	89	88	92
業務	51	55	71	68	77	84	74	75	68	88	86	77	75	79	96	91	84	86	87	87
民生部門	112	122	138	135	153	166	152	151	137	175	169	159	160	172	197	191	180	175	176	178
自動車	41	49	56	55	56	54	52	43	42	40	38	38	38	39	36	35	36	34	29	28
鉄道	4	4	4	4	5	6	5	5	5	6	5	5	5	6	6	6	6	6	5	5
運輸部門	45	53	60	59	61	60	57	48	47	45	44	43	42	44	43	42	41	40	34	34
廃棄物部門	6	5	4	5	6	6	7	8	7	6	6	8	7	7	7	8	6	7	7	6
合計	173	198	218	211	236	246	229	218	202	238	231	221	225	242	259	258	244	238	229	233

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

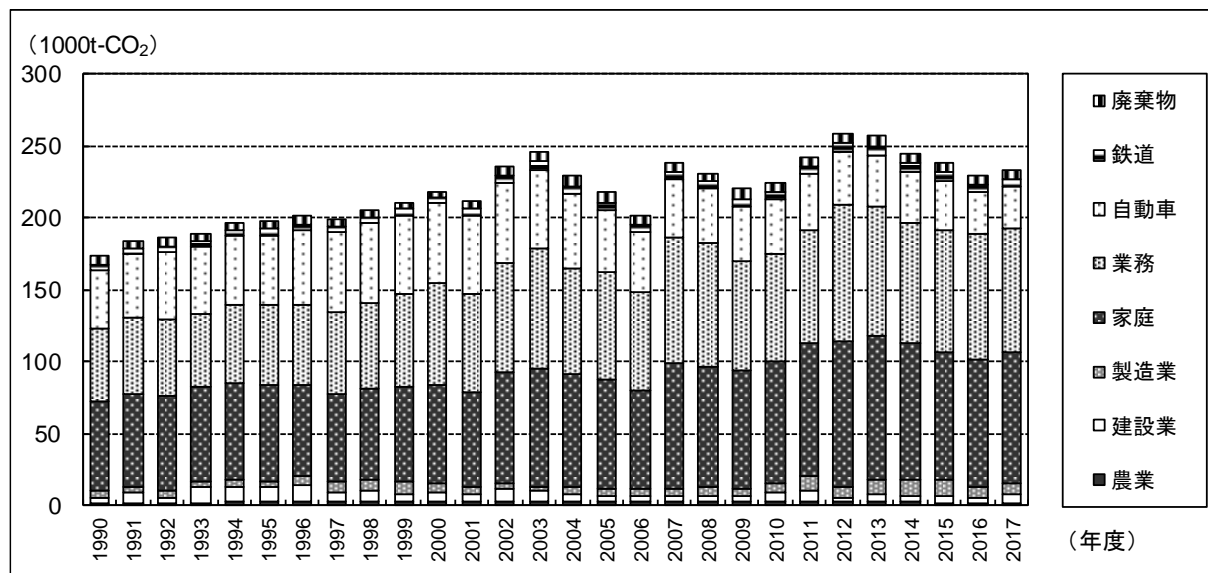


図 I-20 清瀬市における部門別二酸化炭素排出量の推移

21. 東久留米市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-41 東久留米市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	308	308	357	359	350	396	414	384	367	342	384	368	354	345	356	384	382	362	334	322	325
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	1		1	3	3	3	4	3	3	3	7	8	10	10	11	12	17	19	21	23	27
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																				
合計	315	313	365	367	358	404	421	391	375	349	395	380	368	358	369	399	401	384	358	347	353

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-42 東久留米市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	2	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
建設業	10	17	8	4	10	6	9	7	7	9	6	8	7	8	15	8	8	4	3	7
製造業	43	56	57	52	62	61	64	66	65	71	62	58	67	78	75	76	74	76	75	73
産業部門	53	75	67	59	75	70	76	76	74	82	71	68	76	88	92	86	85	82	80	82
家庭	104	113	117	115	130	142	129	135	122	141	135	131	137	148	159	160	150	142	140	143
業務	61	66	71	70	81	93	75	61	53	74	80	68	62	55	71	75	69	54	50	50
民生部門	165	179	189	185	212	235	204	196	175	215	216	200	199	203	230	235	219	196	190	193
自動車	78	91	96	95	97	95	91	80	78	74	69	71	56	50	47	44	45	42	38	37
鉄道	2	2	2	2	2	3	2	2	2	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3
運輸部門	80	93	98	97	99	98	93	82	80	76	72	73	58	53	50	47	47	45	40	40
廃棄物部門	10	10	5	9	11	10	11	13	12	11	10	13	12	11	11	14	11	12	11	10
合計	308	357	359	350	396	414	384	367	342	384	368	354	345	356	384	382	362	334	322	325

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

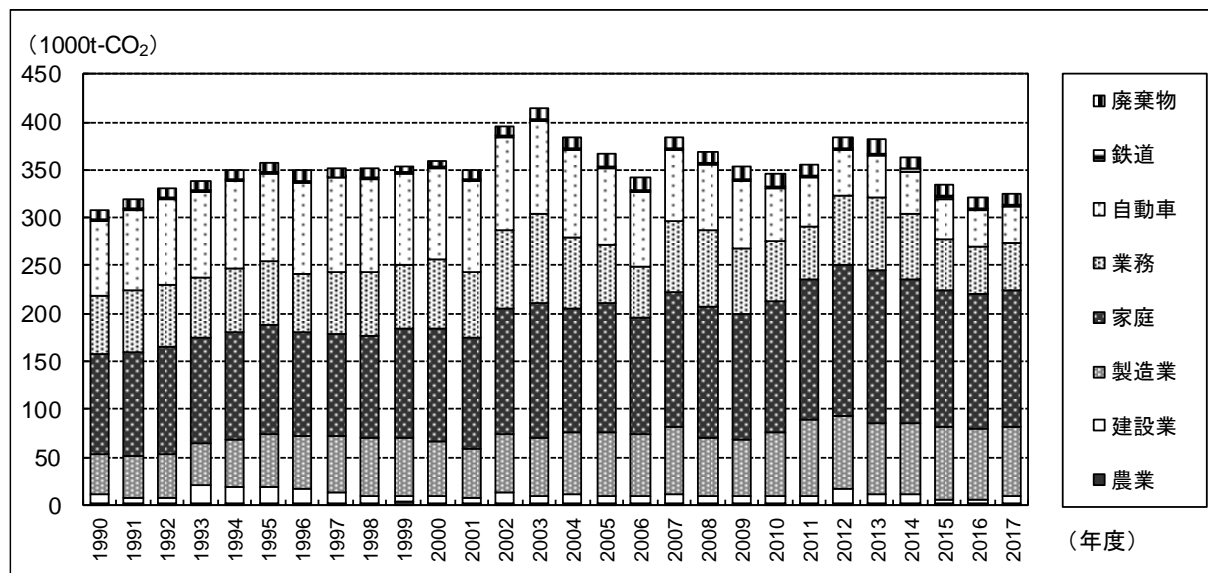


図 I-21 東久留米市における部門別二酸化炭素排出量の推移

22. 武蔵村山市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-43 武蔵村山市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
二酸化炭素 (CO ₂)		440	440	377	347	295	282	283	244	257	233	298	284	268	265	271	286	307	273	264	255	257
メタン (CH ₄)		2	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素 (N ₂ O)		4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)		1		1	3	3	3	3	3	3	2	5	6	7	8	8	9	12	14	15	16	19
パーフルオロカーボン類 (PFCs)		2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)		1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)		0																				
合計		449	445	386	354	303	290	291	250	263	239	307	293	278	275	281	298	322	289	280	273	277

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-44 武蔵村山市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
建設業	12	5	5	9	7	5	8	18	5	8	7	4	11	5	5	4	3	4	6	5
製造業	229	140	106	59	27	30	29	26	25	31	36	30	30	32	38	40	38	39	42	42
産業部門	243	148	114	71	37	39	40	47	34	42	46	37	45	40	46	47	45	45	51	49
家庭	59	65	62	62	70	73	59	64	58	75	72	72	75	81	88	94	86	81	78	82
業務	57	69	70	60	72	70	49	57	55	99	88	81	80	86	93	109	87	84	79	80
民生部門	116	134	131	122	142	143	108	121	113	174	160	153	155	167	181	203	173	165	157	162
自動車	77	90	96	95	96	94	91	81	80	75	71	71	59	55	52	50	49	46	41	40
鉄道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸部門	77	90	96	95	96	94	91	81	80	75	71	71	59	55	52	50	49	46	41	40
廃棄物部門	4	4	6	7	7	7	5	8	7	7	6	7	7	8	7	7	5	7	6	6
合計	440	377	347	295	282	283	244	257	233	298	284	268	265	271	286	307	273	264	255	257

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

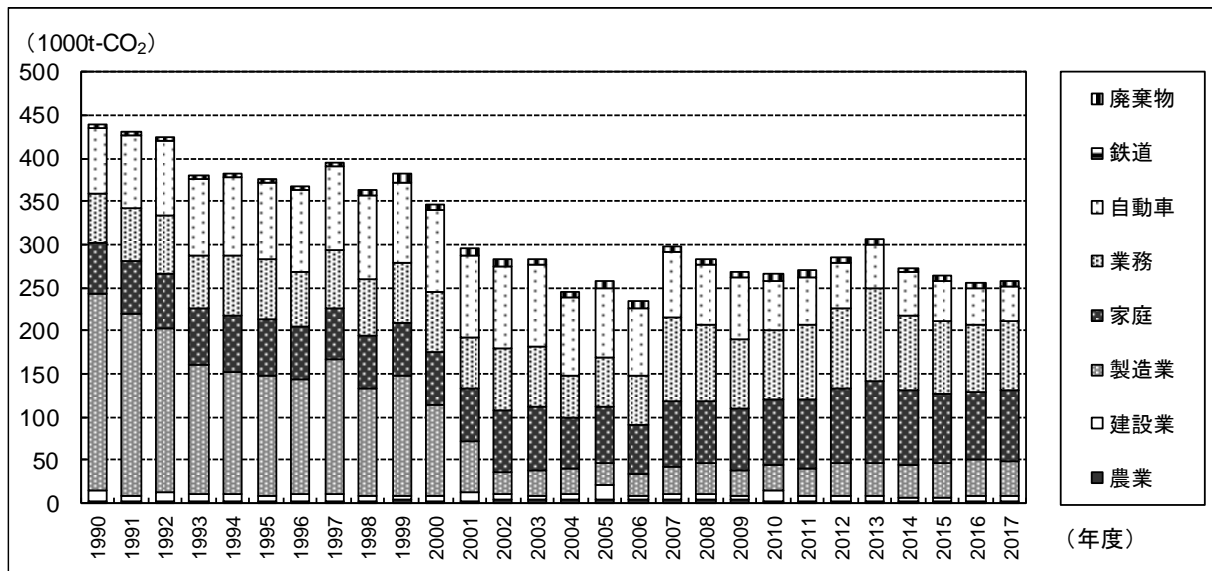


図 I-22 武蔵村山市における部門別二酸化炭素排出量の推移

23. 多摩市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-45 多摩市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	517	517	620	595	588	659	713	650	639	610	669	680	646	645	694	740	750	736	710	696	703
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	7	7	6	6	5	5	5	5	5	5	5	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	1		4	5	5	5	5	5	6	5	15	17	20	21	24	27	36	41	45	49	54
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	1		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																				
合計	528	525	631	607	599	671	724	661	650	621	689	702	671	671	721	771	790	781	758	749	761

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-46 多摩市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業	34	20	9	12	12	7	16	21	16	8	12	6	8	25	9	9	7	6	3	7
製造業	3	3	5	4	4	6	7	9	4	7	5	6	5	6	8	7	5	5	6	6
産業部門	38	24	15	16	17	14	24	31	21	16	18	12	13	32	18	17	13	12	10	14
家庭	138	159	152	149	166	183	164	167	153	184	177	173	177	189	205	202	191	180	178	183
業務	153	221	241	243	286	329	288	268	266	308	333	304	303	325	370	392	394	385	386	385
民生部門	291	380	393	392	452	512	451	435	419	492	510	476	480	514	575	594	585	565	564	567
自動車	171	192	169	167	170	167	160	153	150	141	134	135	134	126	118	113	113	106	100	98
鉄道	6	7	7	7	8	10	9	8	8	10	9	8	8	10	11	12	11	11	10	10
運輸部門	177	199	176	174	178	177	168	161	158	151	143	144	142	135	129	125	124	116	110	108
廃棄物部門	12	18	11	5	12	9	6	12	12	10	9	14	10	13	18	14	14	16	13	14
合計	517	620	595	588	659	713	650	639	610	669	680	646	645	694	740	750	736	710	696	703

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

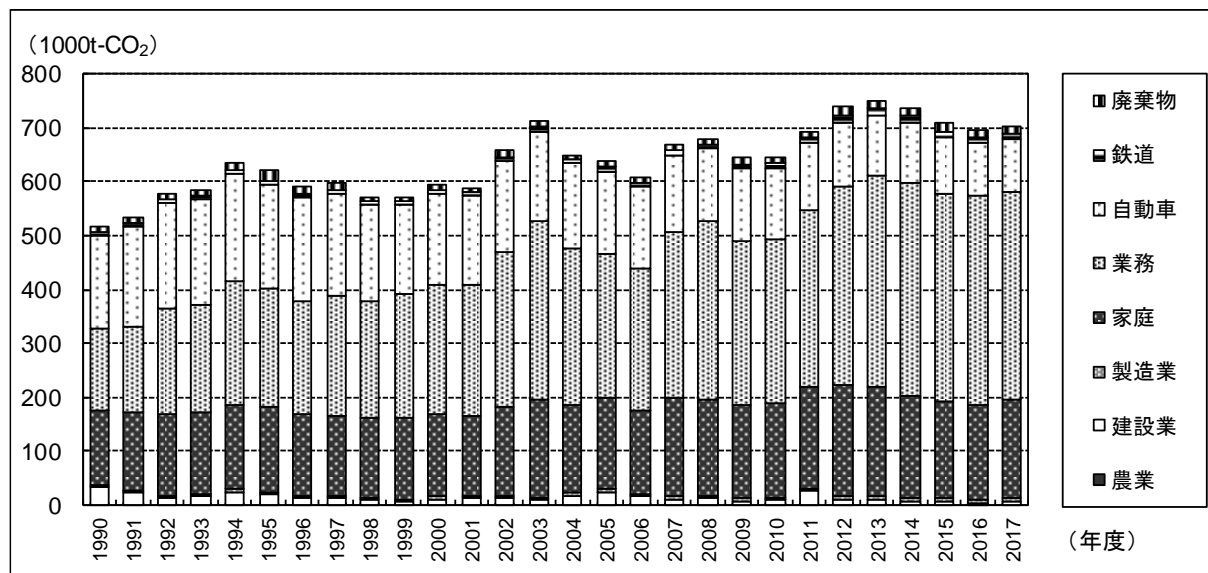


図 I-23 多摩市における部門別二酸化炭素排出量の推移

24. 稲城市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-47 稲城市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	197	197	220	235	231	248	272	255	251	240	280	276	264	273	293	311	313	300	284	280	286
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
一酸化二窒素 (N ₂ O)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	1		1	3	3	3	3	2	2	2	5	6	7	8	8	10	13	14	16	18	20
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																0	0	0	0	0
合計	202	200	225	241	237	254	279	260	256	244	287	285	273	283	304	323	328	317	302	299	308

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-48 稲城市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
建設業	7	14	8	11	6	7	15	10	8	11	8	8	6	7	7	8	10	6	3	4
製造業	28	24	22	15	16	19	25	21	23	34	27	22	25	26	28	28	28	29	30	28
産業部門	36	40	32	28	24	28	42	34	33	47	37	32	34	35	37	38	40	37	35	34
家庭	55	66	70	71	82	91	82	92	85	97	94	93	98	107	115	117	110	105	104	108
業務	51	51	61	61	71	81	67	58	56	74	84	78	72	81	91	92	86	80	79	82
民生部門	106	117	131	132	152	173	149	150	141	170	178	171	170	188	206	208	195	185	183	190
自動車	49	57	62	61	62	61	58	57	56	52	50	50	59	58	56	54	54	50	50	49
鉄道	2	3	3	2	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	3	3
運輸部門	51	60	64	64	65	64	61	60	58	55	53	53	62	61	60	58	57	54	54	52
廃棄物部門	3	3	7	7	6	7	3	7	7	7	7	8	8	8	8	9	8	8	8	9
合計	197	220	235	231	248	272	255	251	240	280	276	264	273	293	311	313	300	284	280	286

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

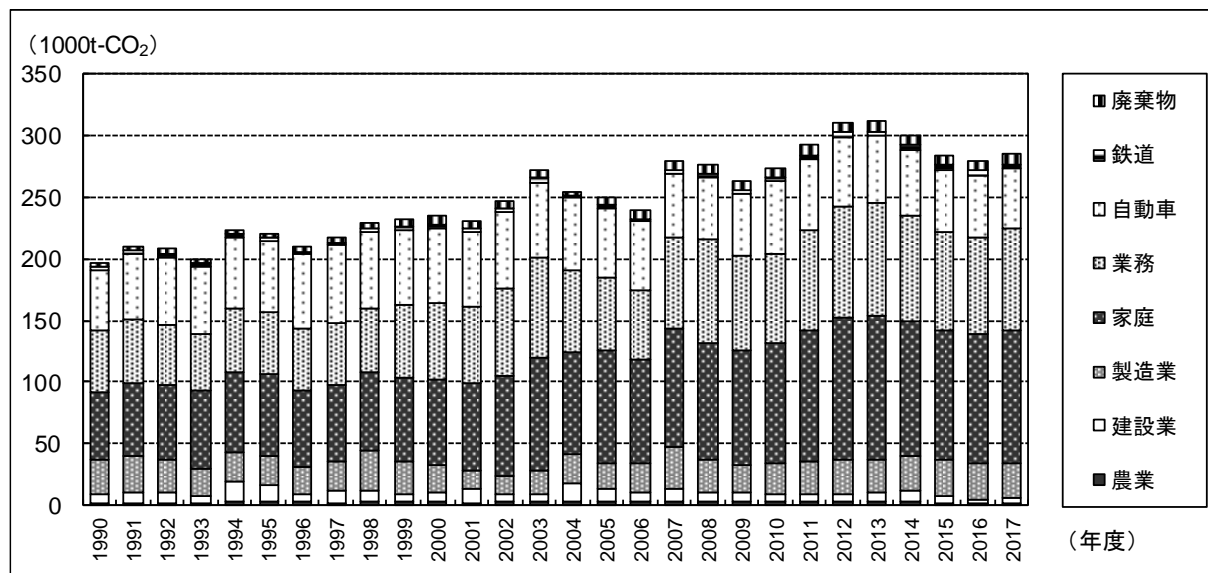


図 I-24 稲城市における部門別二酸化炭素排出量の推移

25. 羽村市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-49 羽村市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
二酸化炭素 (CO ₂)		309	309	329	312	293	355	376	333	344	322	356	314	295	304	332	363	366	346	316	307	310
メタン (CH ₄)		1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素 (N ₂ O)		3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)		1		1	2	2	3	3	2	2	2	5	6	6	7	7	8	10	12	13	14	15
パーフルオロカーボン類 (PFCs)		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2
六ふっ化硫黄 (SF ₆)		1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)		0																0	0	0	0	0
合計		315	313	334	318	299	361	382	338	349	327	364	322	303	312	342	373	379	360	331	324	328

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-50 羽村市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業	8	8	3	4	3	4	5	4	5	5	8	4	7	4	4	3	3	2	2	4
製造業	138	128	109	92	128	152	160	152	139	178	144	129	159	175	218	229	201	191	151	152
産業部門	147	138	112	97	132	157	167	156	145	184	153	134	167	180	223	233	205	194	154	157
家庭	55	61	59	59	66	70	55	62	56	65	61	61	63	67	73	77	71	64	62	65
業務	39	51	59	54	72	66	32	48	48	38	35	32	19	30	14	6	19	9	43	41
民生部門	94	112	118	114	138	135	87	110	103	103	96	93	83	97	87	82	90	74	105	106
自動車	62	72	74	73	75	74	70	67	66	62	58	59	47	47	44	42	42	40	37	36
鉄道	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3
運輸部門	64	75	77	76	78	78	74	70	68	65	61	62	50	50	48	46	46	43	40	39
廃棄物部門	4	4	5	7	7	6	6	8	6	5	4	5	4	5	5	5	5	5	8	7
合計	309	329	312	293	355	376	333	344	322	356	314	295	304	332	363	366	346	316	307	310

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

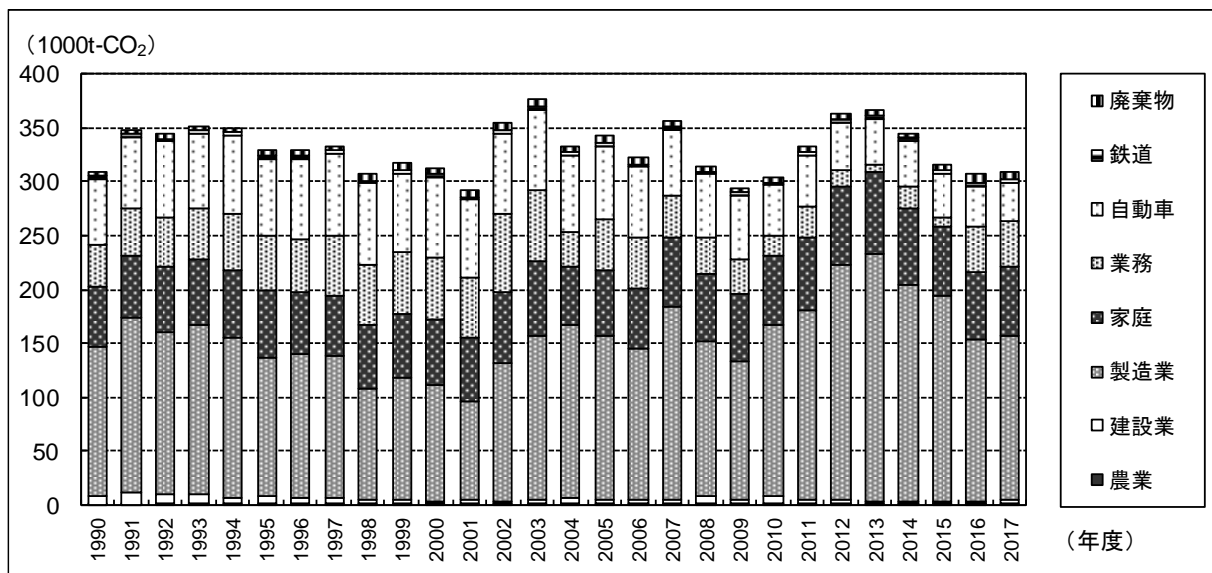


図 I-25 羽村市における部門別二酸化炭素排出量の推移

26. あきる野市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-51 あきる野市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	290	290	338	364	353	391	393	334	324	305	338	299	286	311	314	330	329	310	288	288	287
メタン (CH ₄)	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	1		1	3	3	3	3	3	3	3	6	7	8	9	10	11	15	16	17	19	21
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																	0	0	0	0
合計	301	299	348	373	363	401	402	343	333	314	350	312	300	324	328	345	347	329	308	310	311

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-52 あきる野市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	4	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	7	7	6	6	6
建設業	8	12	10	6	6	6	8	8	6	7	5	5	6	7	7	6	4	4	5	5
製造業	22	22	30	25	27	27	26	18	21	24	17	14	15	14	17	17	18	17	16	15
産業部門	33	40	46	37	41	40	40	33	35	38	29	27	27	27	31	30	29	27	26	27
家庭	63	71	71	73	81	86	68	75	66	84	80	81	84	91	98	106	96	88	85	90
業務	72	86	93	89	110	109	75	84	74	91	73	60	61	65	75	74	68	61	58	56
民生部門	135	157	164	162	191	196	143	158	140	175	153	141	145	156	173	180	164	150	144	146
自動車	114	133	141	142	145	143	138	120	118	111	105	107	126	117	113	108	107	101	106	104
鉄道	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2
運輸部門	116	135	143	144	147	146	141	122	120	114	108	109	128	119	116	110	109	104	108	106
廃棄物部門	6	6	10	11	12	11	9	11	10	11	9	10	11	12	10	10	8	8	9	8
合計	290	338	364	353	391	393	334	324	305	338	299	286	311	314	330	329	310	288	288	287

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

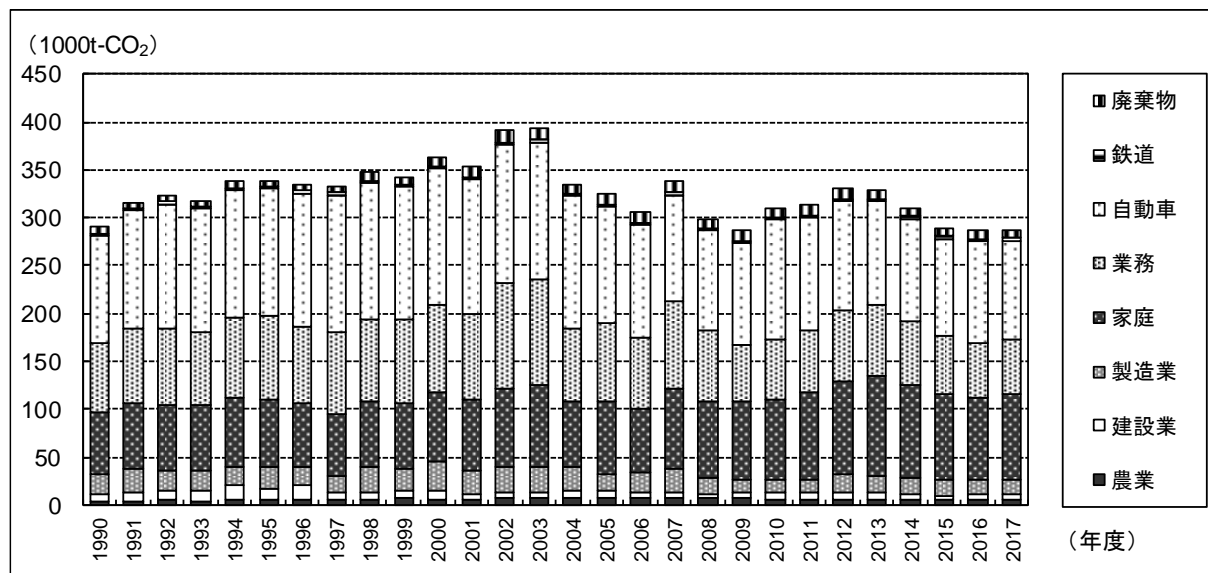


図 I-26 あきる野市における部門別二酸化炭素排出量の推移

27. 西東京市の温室効果ガス排出量の推移

表 I-53 西東京市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	467	467	522	502	502	558	588	540	562	499	550	540	512	500	534	563	568	535	509	492	504
メタン (CH ₄)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	2		2	5	6	6	6	6	6	5	12	14	16	17	18	20	26	29	32	35	41
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																	0	0	0	0
合計	476	473	531	514	514	570	600	552	573	510	567	559	532	521	556	586	598	568	545	531	549

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-54 西東京市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
建設業	19	27	12	17	14	16	17	18	13	13	22	14	13	18	10	12	11	9	8	13
製造業	70	64	43	51	59	57	53	47	38	35	30	26	32	28	37	30	24	23	10	10
産業部門	90	93	57	70	76	76	72	68	53	50	54	42	47	48	49	43	37	33	20	25
家庭	168	193	201	196	226	247	227	248	225	252	243	236	246	267	286	283	267	255	252	258
業務	96	105	113	104	117	127	109	118	95	130	132	118	115	128	140	149	145	136	145	148
民生部門	264	298	314	299	344	374	336	366	320	382	375	355	361	395	426	433	412	391	397	406
自動車	92	107	111	110	112	110	105	97	95	90	85	86	66	63	59	60	60	58	49	48
鉄道	7	8	8	8	10	12	10	10	9	11	11	10	10	11	12	12	11	11	11	10
運輸部門	100	116	119	118	122	121	115	107	104	101	96	96	75	74	71	72	71	69	60	58
廃棄物部門	13	16	11	14	17	17	18	21	22	17	14	19	17	16	16	20	16	17	16	15
合計	467	522	502	502	558	588	540	562	499	550	540	512	500	534	563	568	535	509	492	504

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

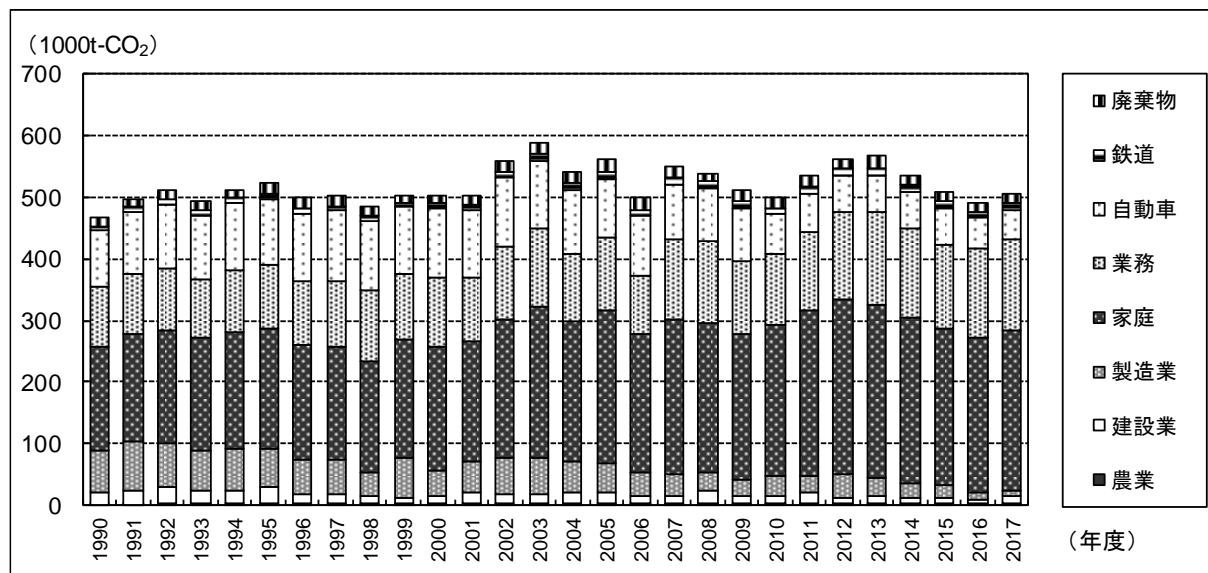


図 I-27 西東京市における部門別二酸化炭素排出量の推移

28. 瑞穂町の温室効果ガス排出量の推移

表 I-55 瑞穂町における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	271	271	246	302	266	265	288	271	268	261	271	256	239	238	242	263	262	257	246	241	237
メタン (CH ₄)	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
一酸化二窒素 (N ₂ O)	5	5	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	2		2	2	2	2	3	2	2	2	4	4	5	5	6	6	8	9	10	11	12
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																	0	0	0	0
合計	284	280	257	310	275	273	297	279	276	268	280	265	248	247	252	274	275	270	260	256	253

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-56 瑞穂町における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3
建設業	7	5	6	3	3	3	5	3	13	3	3	3	4	2	2	3	4	2	2	2
製造業	108	57	104	73	53	78	97	88	90	97	93	80	81	60	102	106	116	115	91	89
産業部門	117	65	114	80	60	84	106	94	107	104	100	87	88	66	108	112	123	120	96	94
家庭	31	35	33	34	38	41	32	36	32	39	37	37	38	41	45	48	44	40	39	41
業務	26	32	36	34	45	43	20	29	15	27	21	19	20	50	27	22	11	11	34	32
民生部門	57	67	70	67	83	84	52	64	46	67	59	56	59	91	72	70	55	51	73	73
自動車	96	112	115	115	116	113	109	105	103	97	94	92	87	82	80	76	75	71	65	64
鉄道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
運輸部門	96	112	115	115	117	114	109	105	103	97	94	92	88	82	80	77	75	72	66	64
廃棄物部門	1	2	3	4	5	6	4	4	4	3	3	4	3	3	4	3	4	4	6	6
合計	271	246	302	266	265	288	271	268	261	271	256	239	238	242	263	262	257	246	241	237

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

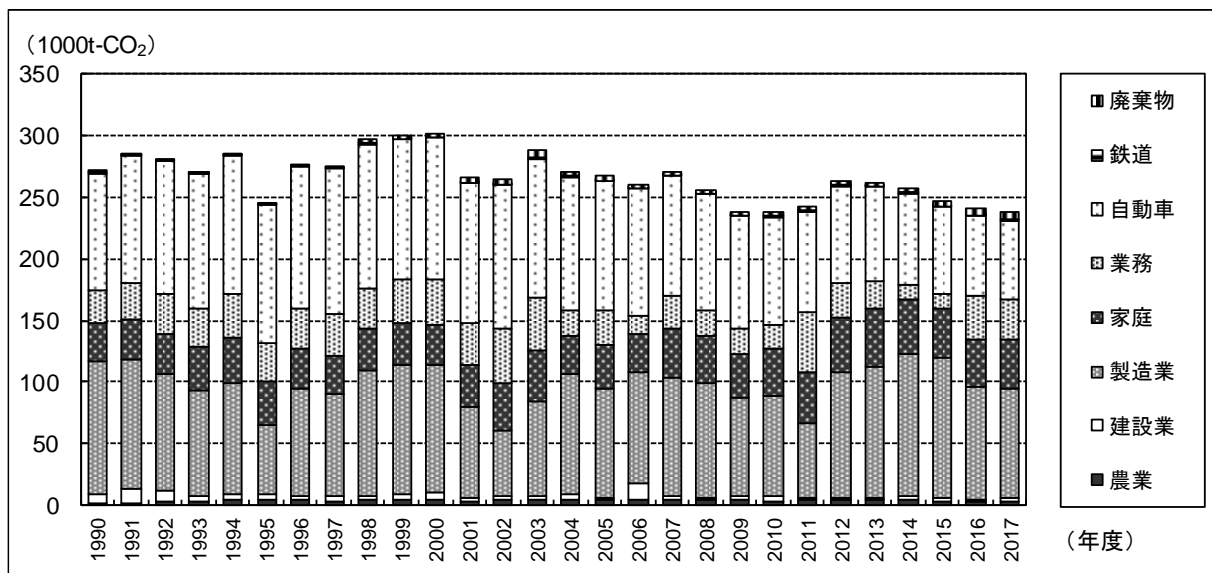


図 I-28 瑞穂町における部門別二酸化炭素排出量の推移

29. 日の出町の温室効果ガス排出量の推移

表 I-57 日の出町における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	72	72	82	78	81	89	97	87	83	91	101	104	97	96	104	113	112	106	102	102	100
メタン (CH ₄)	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素 (N ₂ O)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	0		0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	4	5	5	6	6
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0																				
合計	74	73	84	80	83	91	99	89	85	93	104	108	100	100	108	117	118	112	108	108	107

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-58 日の出町における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
建設業	1	3	1	1	1	3	2	1	10	1	2	2	3	2	2	1	1	1	1	1
製造業	19	21	8	17	18	22	23	22	25	27	22	24	22	23	27	27	24	23	22	21
産業部門	21	26	12	20	22	27	27	25	37	30	26	28	27	27	31	31	27	26	25	24
家庭	13	15	13	14	15	17	14	15	13	15	15	15	16	18	20	21	20	18	17	18
業務	16	17	21	16	19	21	15	16	14	30	39	30	29	36	39	39	39	38	39	38
民生部門	29	31	35	30	34	37	29	31	27	45	54	45	45	54	59	61	58	56	56	56
自動車	20	24	30	30	31	30	29	25	24	23	22	22	22	21	20	19	19	18	19	18
鉄道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸部門	20	24	30	30	31	30	29	25	24	23	22	22	22	21	20	19	19	18	19	18
廃棄物部門	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2
合計	72	82	78	81	89	97	87	83	91	101	104	97	96	104	113	112	106	102	102	100

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

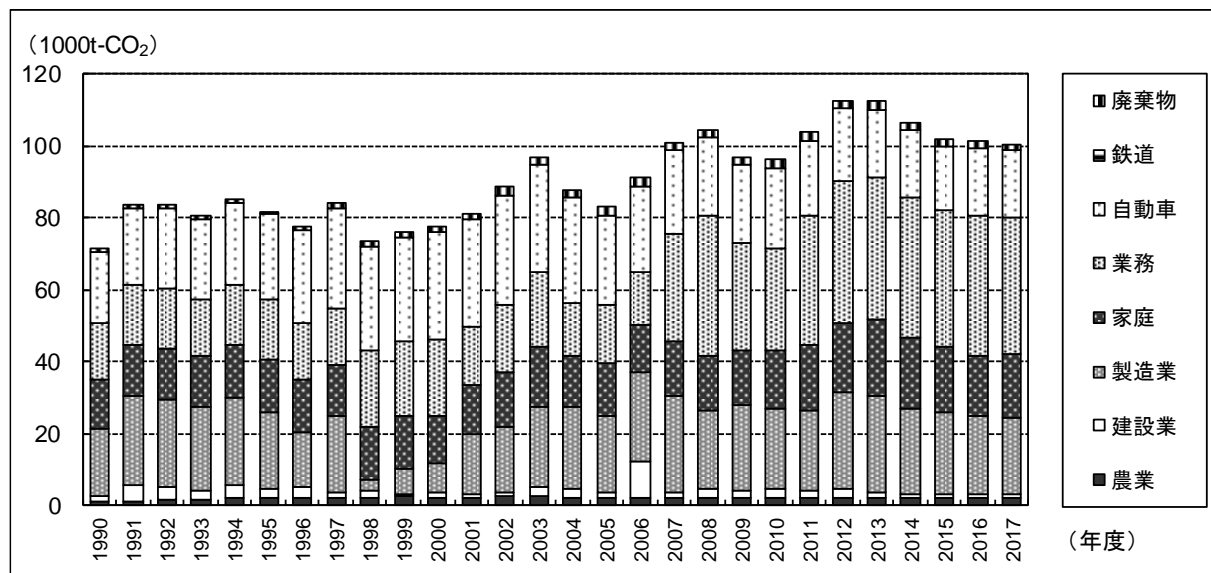


図 I-29 日の出町における部門別二酸化炭素排出量の推移

30. 檜原村の温室効果ガス排出量の推移

表 I-59 檜原村における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
二酸化炭素 (CO ₂)	14	14	17	19	18	19	20	20	17	16	16	15	15	12	14	14	14	14	13	13	12
メタン (CH ₄)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素 (N ₂ O)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	14	17	19	19	20	20	21	18	16	17	16	15	13	14	15	15	15	14	14	14

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-60 檜原村における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1	1	1
建設業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業	0	0	0	0	0	0	3	4	3	3	3	3	1	0	2	2	2	2	2	1
産業部門	1	2	2	2	2	2	5	6	5	5	4	4	3	2	3	3	3	4	3	3
家庭	4	4	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3
業務	3	3	3	3	4	4	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2
民生部門	7	7	7	6	7	7	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	5	5	5
自動車	6	7	10	10	10	10	10	6	6	6	5	6	4	5	5	5	5	4	5	4
鉄道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸部門	6	7	10	10	10	10	10	6	6	6	5	6	4	5	5	5	5	4	5	4
廃棄物部門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	17	19	18	19	20	20	17	16	16	15	15	12	14	14	14	14	13	13	12

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

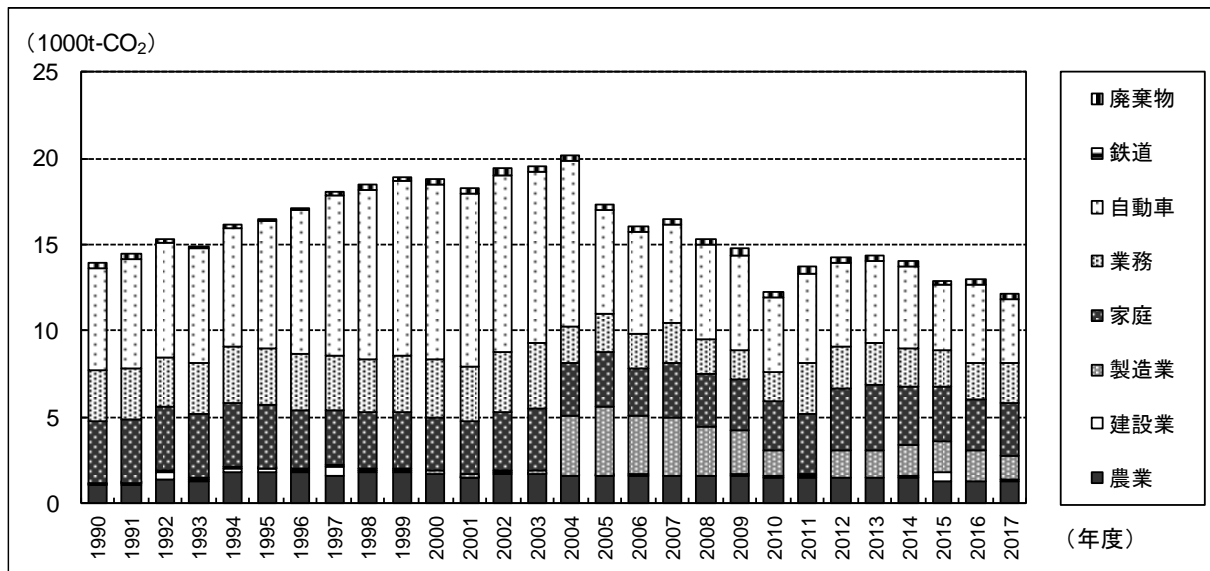


図 I-30 檜原村における部門別二酸化炭素排出量の推移

31. 奥多摩町の温室効果ガス排出量の推移

表 I-61 奥多摩町における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
二酸化炭素 (CO ₂)		54	54	56	48	47	51	54	48	41	38	41	39	36	41	46	47	45	42	38	33	33
メタン (CH ₄)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素 (N ₂ O)		1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)		0		0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3
パーフルオロカーボン類 (PFCs)		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)		0																	0	0	0	0
合計		55	54	57	49	48	52	55	49	42	39	43	40	38	43	48	49	48	44	41	36	36

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

表 I-62 奥多摩町における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
農業	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0
建設業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
製造業	1	0	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	6	2	1	1	1	1	1
産業部門	2	2	1	1	2	2	3	2	3	2	1	1	1	6	3	2	2	2	1	1
家庭	9	9	8	8	9	10	8	8	7	8	8	7	7	8	9	9	9	8	7	7
業務	17	17	17	15	18	21	16	17	15	18	18	15	14	15	20	18	17	14	13	14
民生部門	26	26	25	23	27	30	24	25	22	26	26	23	22	23	29	27	26	22	20	21
自動車	18	21	22	22	22	21	20	13	13	12	11	12	17	15	15	14	14	13	11	10
鉄道	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸部門	25	28	22	22	22	21	13	13	12	12	12	12	18	15	15	14	14	14	11	10
廃棄物部門	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	54	56	48	47	51	54	48	41	38	41	39	36	41	46	47	45	42	38	33	33

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

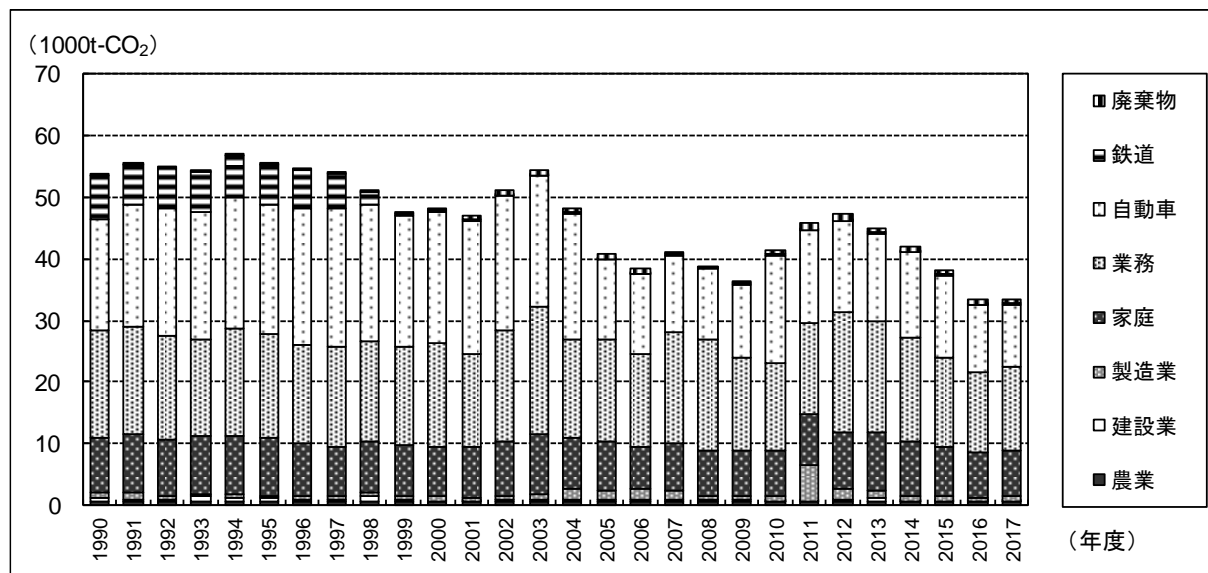


図 I-31 奥多摩町における部門別二酸化炭素排出量の推移

II 吸収量

表 II-1 市町村別吸収量算定結果

(単位：1000t-CO₂)

市町村名	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017		
八王子市	—	34	40	45	81	0	23	35	34	34	47	33	33	31	30	38	27	27	26	34	33	32	11	16	15	51	3	11		
立川市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
武蔵野市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
三鷹市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
青梅市	—	50	47	49	54	0	43	39	45	50	40	36	39	40	36	23	39	36	30	24	5	33	17	18	17	19	6	10		
府中市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
昭島市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
調布市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
町田市	—	4	3	3	5	0	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-2	3	2	1	1	0	4	1
小金井市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小平市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日野市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-4	0	0	0	0	0	0	
東村山市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
国分寺市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
国立市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福生市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
狛江市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東大和市	—	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	
清瀬市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東久留米市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
武蔵村山市	—	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
多摩市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
稲城市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
羽村市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
あきる野市	—	33	33	34	40	0	29	31	28	45	28	30	26	30	26	28	24	25	25	20	17	28	16	16	15	16	7	12		
西東京市	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市部計	—	123	125	133	181	0	98	109	110	132	117	103	100	104	96	69	93	91	85	82	49	97	46	52	49	88	21	34		
瑞穂町	—	2	1	1	2	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-1	1	1	1	0	0	0	0	
日の出町	—	15	15	16	14	0	11	14	12	14	12	13	11	16	11	13	11	12	11	9	5	14	7	7	7	7	4	7		
檜原村	—	71	68	71	117	0	62	64	59	178	61	61	57	72	56	58	51	52	52	45	38	69	33	35	33	35	17	28		
奥多摩町	—	102	100	89	158	0	77	85	79	521	83	79	80	185	68	68	71	63	62	47	45	86	37	37	33	42	23	29		
町村部計	—	190	185	176	291	0	151	164	152	714	158	154	149	274	136	140	134	127	126	102	87	170	77	80	74	84	44	64		
多摩地域計	—	312	310	309	472	0	249	273	262	846	275	257	250	378	232	209	227	218	210	183	137	267	123	132	123	171	65	99		

- (注) 1. 1990年度の値は、本来は1989年度末から1990年度末までのバイオマス増加量である。本算定では、1990年度末からを対象としているため、算定対象外とした。
2. 上表においては、二酸化炭素の吸収分を正（プラス）の表記としている。したがって、上表において負（マイナス）の表記となっているのは、森林が減少したことによる二酸化炭素の排出ということを意味している。
3. 吸収量とは木が成長した量に対し、吸収した二酸化炭素に換算したものである。したがって、吸収量の大きさは、木の成長量の大きさを示している。

III 多摩地域の温室効果ガス排出量増減に関する考察

1. 多摩地域の温室効果ガス排出量の全体の傾向

- ・2017年度の多摩地域の温室効果ガス排出量は約15.7百万t(CO₂換算)で、基準年度比14.9%増、前年度比1.7%増となっている。基準年度比での増加は、温室効果ガス排出量の大半を占める二酸化炭素排出量の増加と、2007年度以降のHFC類排出量の増加の影響が大きい。
- ・2011年度以降数年増加した後に2014年度から減少に転じ、2017年度は前年度比で微増となっている。

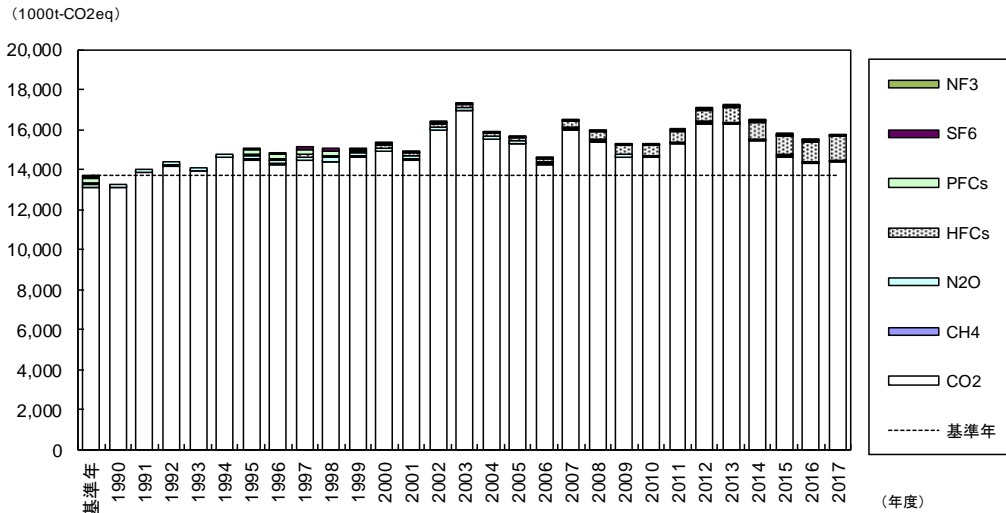


図 III-1 多摩地域の温室効果ガス排出量の推移

- ・二酸化炭素の主要な排出源となるエネルギー消費については図 III-2のとおりであり、多摩地域全体では長く減少傾向が続いていたが、2017年度は前年度比で微増となった。そのうち家庭部門の増加が最も大きく、5.3%増となっている。
- ・二酸化炭素排出量とエネルギー消費量の傾向が異なる原因は、エネルギー消費量を二酸化炭素排出量に換算する「二酸化炭素排出係数」にある。このうち、電力の二酸化炭素排出係数は、後述のとおり毎年変動し、二酸化炭素排出量はこの影響を強く受ける。

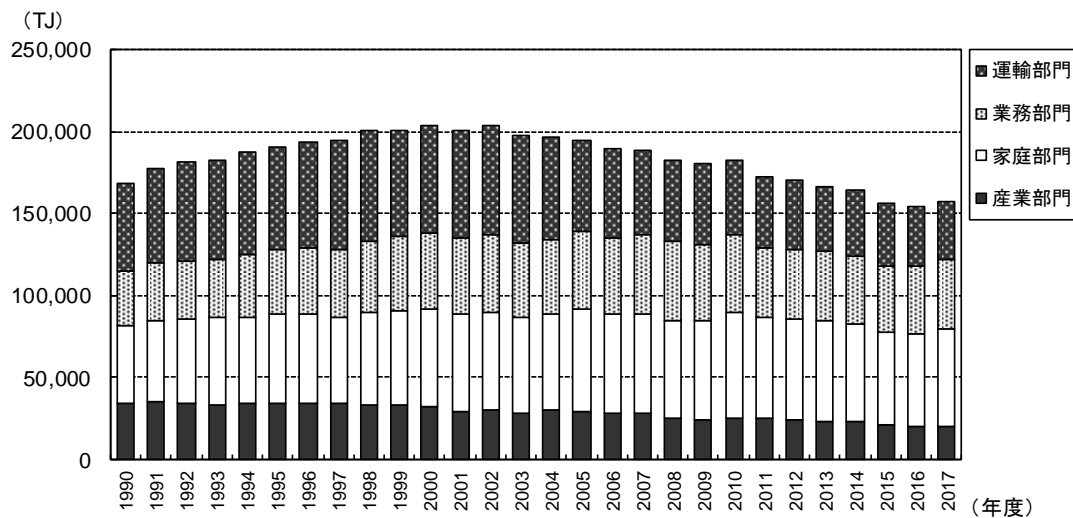


図 III-2 多摩地域のエネルギー消費量の推移

2. 電力の二酸化炭素排出係数に関する要因

- 電力の二酸化炭素排出係数は、その年の電源構成（発電量ベース）により決定される。図 III-3において二酸化炭素排出係数が高い年は、図 III-4において原子力発電による発電量の割合が低いことがわかる。
- 前ページの図 III-2において、2007年度や2011年度のエネルギー消費量が前年度比で増加していないにもかかわらず、図 III-1において、それらの年度の二酸化炭素排出量が前年度比で大きく増加していることから、これらの年度における二酸化炭素排出量の増加は、電力の二酸化炭素排出係数の増大によるものであると言える。
- 2003年度の二酸化炭素排出係数の増大は、「東京電力の検査・点検等の不正問題に起因する原子力発電所の稼働率低下」の影響である。
- 2007年度の二酸化炭素排出係数の増大は、「新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所の停止」の影響である。
- 2011年度以降の二酸化炭素排出係数の増大は、「東日本大震災以降の原子力発電所の停止」に起因する。

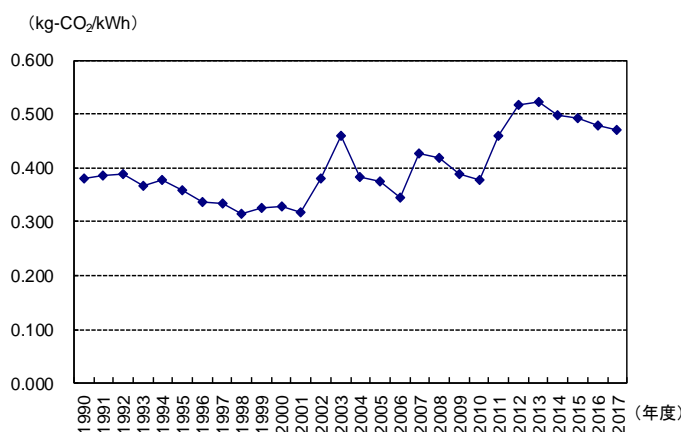


図 III-3 電力の二酸化炭素排出係数の推移

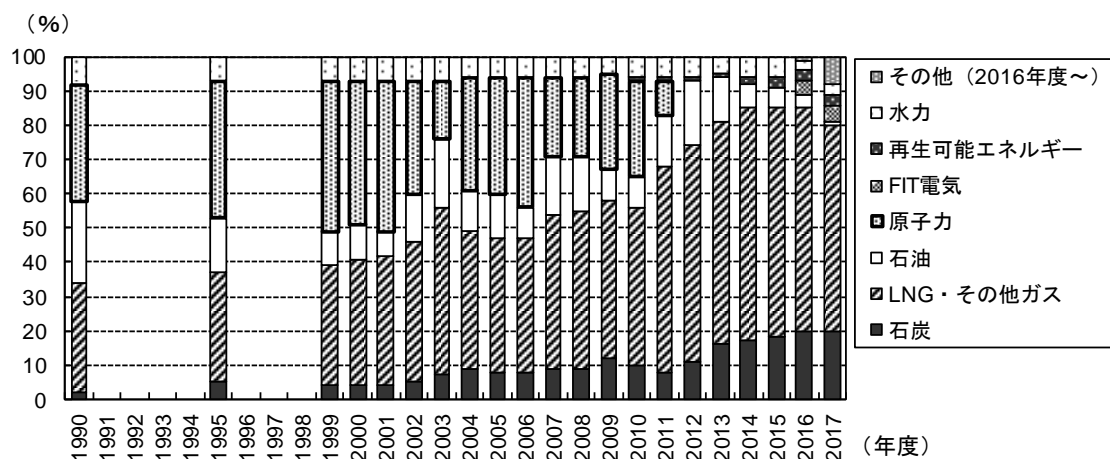


図 III-4 東京電力のエネルギー別発電電力量構成比

(出典) 2015年度まで：東京電力 HP「数表でみる東京電力 電力供給設備 エネルギー別発電電力量構成比（含他社受電）」<http://www.tepco.co.jp/corporateinfo/illustrated/electricity-supply/output-energy-source-include-j.html>（最終アクセス日：2020年3月9日）

2016年度：東京電力エナジーパートナーHP「エネルギー別電力量比率（2016年度実績）」

http://www.tepco.co.jp/ep/power_supply/2016.html（最終アクセス日：2020年3月9日）

2017年度：東京電力エナジーパートナーHP「エネルギー別電力量比率（2017年度実績）」

http://www.tepco.co.jp/ep/power_supply/2017.html（最終アクセス日：2020年3月9日）

(注) 2015年度までは他社受電分を含んだ構成比となっているが、2016年度以降の他社受電分は「その他（2016年度～）」として計上されている。

3. 民生家庭部門における世帯数の影響

- ・多摩地域の世帯数について、2017年度は1990年度比で43%増加しており、2016年度比では1%の増加となっている。
- ・世帯当たりエネルギー消費量は1990年度比で13%減少となっていることから、民生家庭部門におけるエネルギー消費の増加（同25%）の大きな要因は、「世帯数の増加」であると言える。
- ・世帯当たりエネルギー消費量が減少傾向にあるのは、世帯人員（1世帯当たり人数）の減少等が主な要因として考えられる。
- ・また、2011年度以降は、東日本大震災後の節電の取組とその定着、さらに省エネ設備・機器の普及等により世帯当たりエネルギー消費量が減少していると考えられる。
- ・一方で2017年度の世帯当たりエネルギー消費量が東日本大震災以降初めて顕著な増加となった主な原因は、厳冬による暖房需要の増加であると考えられる。

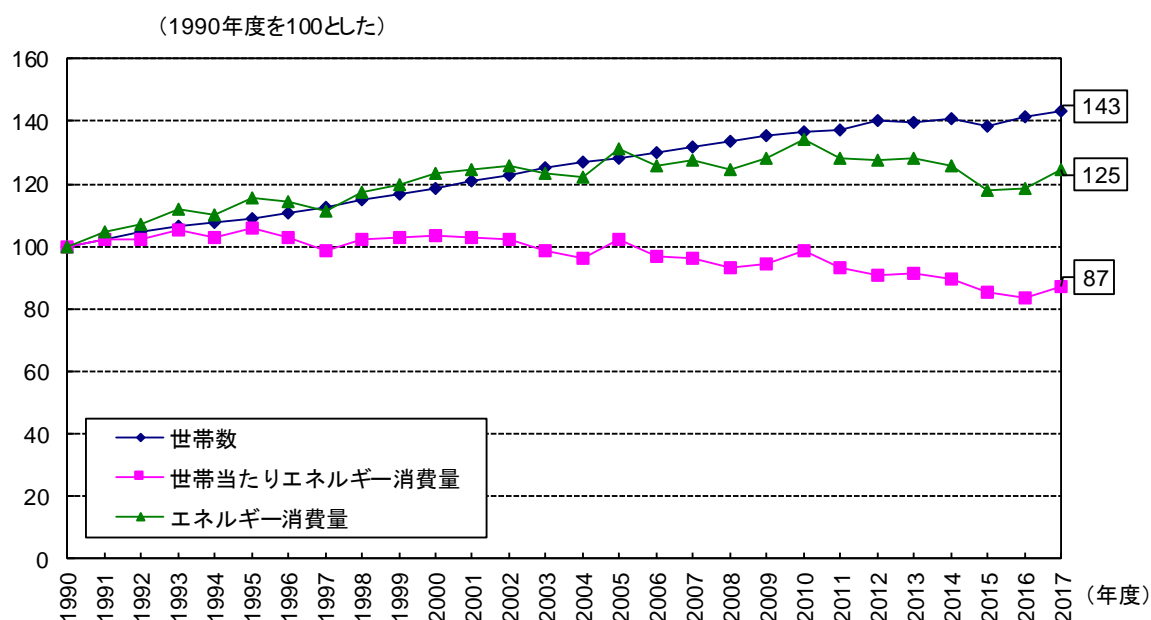


図 III-5 世帯数とエネルギー消費量

4. 民生業務部門における延床面積の影響

- ・多摩地域の業務延床面積は堅調に増加しており、2017年度は1990年度比で37%増加している。
- ・延床面積当たりエネルギー消費量は、同7%減少となっていることから、民生業務部門におけるエネルギー消費量の増加（同28%）の大きな要因は、「延床面積の増加」であると言える。
- ・2011年度は東日本大震災後の節電の取組等により、延床面積当たりエネルギー消費量が減少し、それ以降は節電の取組が定着し、また省エネ設備・機器が普及したこと等により、延床面積当たりエネルギー消費量は震災以前よりも低い水準で推移している。

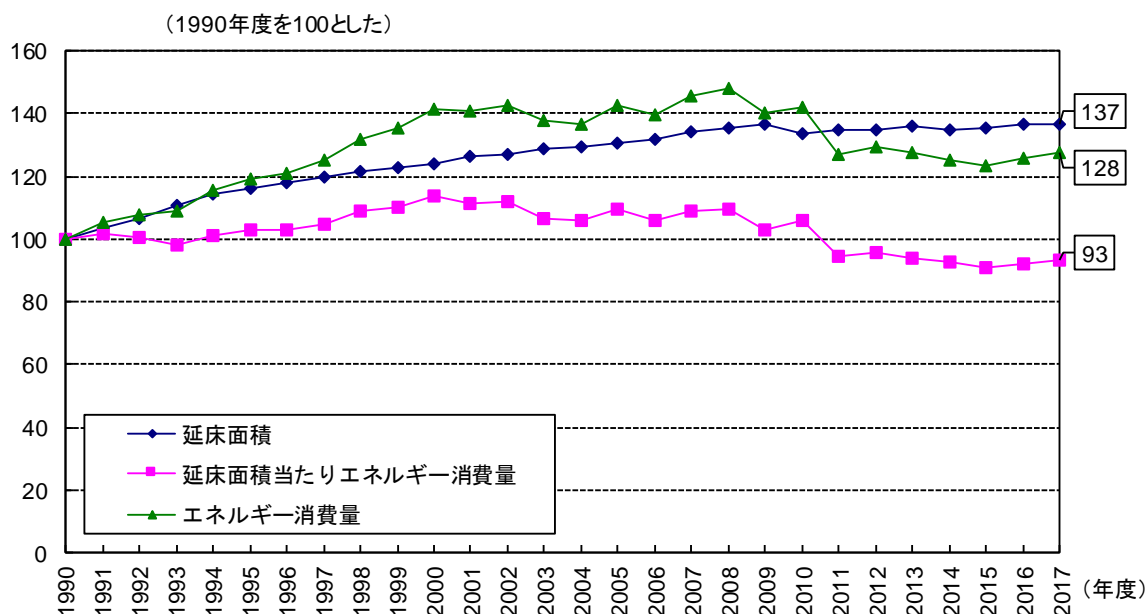


図 III-6 延床面積とエネルギー消費量



2019 年度オール東京 62 市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

「多摩地域の温室効果ガス排出量」

発行 2020 年 3 月

主催 特別区長会・東京都市長会・東京都町村会

企画 (公財) 特別区協議会

(公財) 東京市町村自治調査会

本書は、株式会社住環境計画研究所に委託し、オール東京 62 市区町村共同事業として作成したものである。

本書は再生紙を使用しています。